

本体操作説明書

※ナビゲーション操作については、別冊
「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。

ドライブレコーダー付きカーナビ

品番：car-085 前後同時録画

品番：car-086 前方のみ録画

共用



事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見ないでください。
また、走行中に画面に集中したり機器の操作をしないでください。

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず、この本体操作説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

※取扱説明書は事前予告なく変更される場合があります。

※本書で使用されている画像/イラストはイメージです。実際の付属品とは仕様が異なる場合があります。

※本書に保証書が付いています。お買上げ日、ご購入店名の記載、または同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。

サポートセンターのお問い合わせ先は下記になります。

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意願います。

※返品返金に関するお問い合わせはご購入店にご連絡ください。

※ご連絡いただく前に、必ず「お困りの時は」の項目を確認してください。

製品のお問合せ先

ベスト・アンサー株式会社

電話：078-381-9689

FAX：078-330-3689

E-mail：info@bestanswer.jp

営業時間：平日10:00-17:00(土/日/祝祭日は休み)

はじめに

- ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき内容を十分理解したうえで正しくご使用ください。
- 誤ったご使用は、製品寿命を縮めたり、故障や事故を起こす原因になる可能性がありますので、取扱説明書の安全上のご注意や使用上の注意などを必ずお読みのうえ製品をご使用ください。
- 本製品の性能改善のため、製品仕様は予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
- 取扱説明書で使用されている本製品の画像は印刷状況などにより実際の製品と異なる場合があります。
- 保証書は「ご購入日・ご購入店」などがわかる書類と一緒に大切に保管してください。

GPS ナビゲーションとは

本製品に搭載されております GPS によるナビゲーションシステムは、衛星よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行うシステムです。従いまして GPS ナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なります。その特性をご理解の上ご使用いただきますようお願いいたします。

GPS ナビゲーションの特性







- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPUに負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本製品のリセットボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境によってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承ください。
- ③電源をOFFにする際、スリープモードと電源OFF(完全に電源を切る)モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶しているため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本製品のリセットボタンを押してください。
- ④電源起動後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定ができない場合があります。目安として本製品の画面上に現在時間が表示されますと測位は完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめください。
- ⑤はじめてご使用のときや前回使用したときから遠く離れた状態で電源を入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、数十分時間がかかる場合があります。(コールドスタートと呼びます。) いったん受信完了し測位が完了した後は、GPSからの受信は速くなります。本製品はGPS専用ナビゲーションです。みちびきなど他の衛星を利用したシステムではございません。

目次

はじめに	P1
目次	P2
安全上のご注意	P3 ~ 8
ご使用上の注意	P9 ~ 14
商品構成	P15
各部名称	P16
リセット機能	P17
車への取付け	P18 ~ 22
電源について	P23
操作説明	P24
メインメニュー	P25
ワンセグTV	P26 ~ 40
ワンセグテレビ操作画面の機能	P27
ワンセグTVの各種設定	P28
チャンネル設定	P29 ~ 31
ワンセグTVの基本設定	P32 ~ 33
ワンセグTVのビデオ設定	P34
ワンセグTVの番組表	P35 ~ 36
番組を録画・再生する	P37 ~ 38
静止画を保存・再生する	P39 ~ 40
マルチメディア	P41 ~ 53
音楽	P42 ~ 43
動画	P44 ~ 45
静止画	P46 ~ 47
電子書籍	P48 ~ 53
ドライブレコーダー	P54 ~ 63
バックカメラについて	P55
バックカメラを取り付ける	P56
ドライブレコーダー画面の各機能	P57
基本操作	P58
録画モード操作	P59
ドライブレコーダー設定	P60 ~ 61
再生モード操作	P62 ~ 63
設定	P64 ~ 71
ボリューム	P65
バックライト	P65 ~ 66
画面補正	P67
言語	P68
ナビパス設定	P68
日付・時間	P69
初期化	P69
GPS情報	P70
システム情報	P71
USB	P71
ハードウェア仕様	P72
お困りの時は	P73 ~ 74
保証書	P75

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、ご使用になるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、重要な内容を記載しています。次の内容表示・図記号をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。
図記号	図記号の意味
 禁止	この表示は禁止 やってはいけないことを示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	この表示は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	この表示は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。










*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。












*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。




*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

















■本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
















■本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

 警告	異常を感じたとき
 	煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。コンセントをぬき、煙が出なくなることを確認してください。
 	内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 	落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 	電源コードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 警告	取扱い上の注意
 	取扱いは優しく行ってください。本製品は衝撃に弱いため、落ちたり倒れたりすると画面割れ、破損、画面が映らない、音が出ない、動作がおかしいなどの故障の原因となります。その場合有償修理対応となります。
 	取扱い方法や注意事項を守って正しく使用してください。注意事項などを守らないことによって生じる不具合や取扱いの不備による故障と認められた場合は保証対象外となります。
 	設置用スタンド（吸盤スタンド）は必ず定期的に点検してください。吸盤部分は車内での直射日光、温度、湿度などの影響を受けるため吸着部分が経年劣化し弱くなります。設置用スタンド（吸盤スタンド）ががはずれ、タッチパネル及び液晶画面が破損した場合は保証期間内であっても有償修理対応となります。
 	本製品が濡れたり、本製品に水が入ったりしないようにしてください。特に雨天、降雪、海辺、海岸、川辺、水辺などでご使用時は注意してください。発煙、火災、感電などの原因となります。
 	小さなお子様や乳幼児の手の届く場所で使用、放置、保管しない。部品の誤飲や重大な事故につながる可能性があります。必ず保護者の管理下で使用、保管してください。










 警告	設置について
	屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないでください。本製品が落下して、けがをしたり、故障、破損の原因となります。

 警告 設置について	
	エアバックの動作を妨げる場所には絶対に本製品を取り付けないでください。エアバックシステムが正常に作動しない原因となり、危険です。
	運転や視界を妨げ同乗者に危険をおよぼす場所には本製品を取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。
	ひざの上などで使用するなど直接肌にふれないようにしてください。低温やけどの原因となります。(低温やけどは体温より高温のものを長時間あてていると発生するやけどです。)
 注意 設置について	
	温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化の原因となることがあります。
	湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。
	風通しの悪い場所で使用しないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により動作不安定になることがあります。
	本製品を移動させる場合は、DCアダプターやその他外部接続線はずしてください。配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり落下によるけがの原因となることがあります。
 警告 電源について	
	DCアダプターを分解、改造、修理しないでください。火災・感電の原因となります。
	DCアダプターは付属のものを使用してください。指定以外のシガーアダプターを使用すると火災・故障の原因となることがあります。
	DCアダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したり、引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。無理に曲げたりねじったり束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
	DCアダプターはDC12V 24V対応です。電源変換器は使用しないでください。電圧変換器(DC DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがあります。
	時々電源プラグを抜いて接点にほこりが付着していないか確認し、掃除してください。電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。
	DCアダプターのヒューズを交換するときは必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定以外のヒューズを使用すると火災や故障の原因になります。

 警告		電源について
	電源供給口は増設や加工をせず、車のシガーソケットに直接、付属のDCアダプターをご使用ください。増設や加工をすると給電が安定せず、不具合の原因になる場合があります。	
 注意		電源について
	ぬれた手でDCアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。	
	旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。万一故障したとき、火災の原因となることがあります。	
	付属のDCアダプターを本製品以外の他の用途に使用しないでください。本製品以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。	
	電源プラグはソケットの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。	
 警告		使用について
	エアバックの動作を妨げる場所には絶対に本製品を取り付けしないでください。エアバックシステムが正常に作動しない原因となり、危険です。	
	運転や視界を妨げ同乗者に危険をおよぼす場所には本製品を取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。	
	本製品を布やカバーなどで覆った状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。	
	運転者は走行中に複雑な操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、運転中に複雑な操作をするときは必ず安全な場所に車を停車させ、サイドブレーキをかけた後に操作してください。	
	故障や異常な状態のまま使用しないでください。本製品で故障（映像や音が出ない）や異常（煙が出る・異臭・異音）が起きた場合は直ちに使用を中止してください。	
	本製品は船舶、航空機の主航法装置として、または登山用地図としては使用できません。測定誤差が生じるため、事故やけがの原因となります。また塩害などにより、火災、感電の原因となります。	





警告

使用について

	修理・分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理はご購入店またはサポートセンターにご依頼ください。
	内部に異物を入れないでください。針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	雷が鳴り出したら本製品や電源プラグに触れないでください。火災・感電の原因となります。
	水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因になります。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。
	歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は、周囲の安全に十分注意し本製品を直視しないでください。交通事故の原因となります。
	ナビゲーション案内は実際の状況と異なる場合があります。本製品では交通規制の変更などにより、実際の交通規制と異なる場合があります。ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従ってください。交通事故の原因となります。
	MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「MP3」をつけないでください。WMAファイル以外のファイルに、拡張子「WMA」をつけないでください。MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい大きな雑音が出たりスピーカー破損の原因となります。ファイル作成時は拡張子にご注意ください。
	動作中に microSD カードを抜かないでください。本製品で音楽、静止画、動画再生、電子書籍の再生中および、ドラレコ使用中に microSD カードを抜くと、本体の誤作動や microSD カードの破損の原因となります。
	使用しない場合はシガーソケットからDCアダプターを取り外してください。車のバッテリー上がりの原因となる場合があります。

注意

使用について

	ヘッドホン、イヤホンなどをご使用になるときは音量をあげすぎないでください。大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。
	運転中は大きな音量でのご使用はしないでください。またイヤホン、ヘッドホンのご使用はしないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。また外部接続時はその音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないでください。中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

注意事項

- GPS電波が受信できない場所(建物の中、地下、見晴らしの悪い場所など)でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合があります。
- GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお勧めします。
- 液晶画面は、傷つきやすいので、硬いものでタッチしないでください。
- 初回の充電は電源をOFFにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。
- 電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- 地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

免責事項

- 本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

ご使用上の注意

取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
 - 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないようにした状態で外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
 - 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴム、ビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
 - 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
 - 長期間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- ※液晶、タッチパネル、アンテナの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

設置・保管について

- 本製品は二輪車での使用環境を想定しておりません。二輪車では使用しないでください。
- エアバックの動作を妨げる場所や、タッチ画面に直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- 高温・低温・高湿になる場所に本製品を保管、設置しないでください。
- 雨が吹き込む場所、水のかかる場所、ほこりや湿度が多い場所に本製品を保管、設置しないでください。
- 運転者の視界を妨げる場所や操作時に手が届かない場所には設置しないでください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。しばらくご使用にならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。
- 本製品を長時間使用しない時、または車のエンジンを切った場合は、電源スイッチをOFF状態にしてください。また、電源ケーブルを本体からぬいてください。
- 電源ケーブルを抜く時には、コードをひっぱったりしないでください。
- 電源をOFFにしなかったり、電源ケーブルを挿入したまま長時間保管すると内蔵バッテリーの放電や機器の誤作動の原因になる場合場合があります。

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準にて範囲以内の視界を確保することが義務付けられています。ダッシュボード上に機器を取り付ける際には、運転手の視界を妨げないよう取り付けてください。

【前方視界基準（対象車両）】

専ら常用の用に供する自動車（乗車定員 11 人以上の自動車及び被牽引自動車を除く）
車両総重量が 3.5 トン以下の貨物自動車

【基準概要】

自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m 円柱（6 歳児を模したもの）を鏡などを用いず直接視認できること

お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤は絶対使用しないでください。割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカード（microSD カード）について

- 本製品は地図データが内蔵フラッシュメモリーに収録されていますのでメディア用 microSD カードスロット) を使用し音楽・動画再生、静止画再生、電子書籍の閲覧ができます。
- ドラレコ用 SD カードスロットを使用すると、ドラレコ映像を録画 / 再生することができます。
- 対応メモリーカード：microSD/SDHC タイプ 32GB まで
※一部メモリーカードは正常に認識されない場合がありますのでご注意ください。
(著作権保護機能と UHS-I 規格には対応していません。)
- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本製品に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本製品およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本製品でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 挿入、取り出しの際は、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。また向きを間違わないようご注意の上、最後までしっかりと挿入してください。無理な挿入や取り出しは破損や故障の原因となります。
- メモリーカードの取扱いについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損消滅することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損、消滅することがあります。記録されたデータの破損消滅については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたる場所や、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本製品から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。microSD カードは消耗品ですので定期的に新品に交換することをお勧めします。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードを購入してください。

テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをご使用になる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越しなどで受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合などにも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰、窓際から遠い室内、地下などでは電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。
- 受信状態が悪くなると映像にブロックノイズが出る、音声途切れる、画面が静止する、画面が黒くなり音声がなくなるといった症状が出る場合があります。
- 車で移動中に受信する際は家庭用のデジタルチューナに比べて受信エリアが狭くなり受信できない場合があります。また周辺環境などに受信状況が変化します。
- 本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器などを車内で使用したり本製品に近づけると、映像、音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか本製品から離してご使用ください。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。
- 電波の特性上建物や山が障害となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内や放送局から遠ざかった場合など電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 車の走行速度によって映像や音声か乱れたり、受信できなくなることがあります。また停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり映像や音声か乱れたり、受信できなくなることがあります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信信号機、ネオンサインなどの放電機器の近い場所で受信すると、映像や音声か乱れたり、雑音が入ったり、受信できなくなることがあります。
- テレビの受信状態が悪いときは、しばらくそのままお待ちください。もしくはワンセグを再起動してください。また車の場所、方向、速度などにより受信状態が変化します。

ワンセグについて

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。

放送エリアのめやすは（<http://dpa.tv/area.jp/>）にてご確認ください。

フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより、電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがあります。受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

GPS 受信について

- GPS 衛星から電波を受信していても、測位に時間がかかる場合があります。電源を入れてから数分～数十分間は地図上に現在地が表示されない場合があります。
- 本製品はGPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、地図上に現在値を表示します。しかし最大約 30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また GPS 衛星は米国国防総省によって管理されていますので意図的に測定用電波のデータが変更されるときがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。
- 本製品は GPS の情報だけを検出してルート案内を行います。受信状態や誤差により正常なルート案内ができない場合もありますので案内の内容を参考にしながら交通規制に従い走行してください。
- 始めてご使用になる際は位置を測定し現在の位置を表示するまで数分～数十分程度の時間がかかります。電源を入れた後、GPSの受信が完了してから走行を始めてください。初めてご使用になるとき、または長期間ご使用になっていないときは、見晴らしの良い場所で衛星から信号を受けて測位しやすくしてください。
- 次の条件によっては誤差または GPS の受信状態が低下しやすくなります。
 - ・強力な電波発生源が近くにある場所（携帯電話の中継局、携帯電話抑制装置のある建物など）
 - ・山の中、森林の中、周囲が高い建物、高速道路下、高架下、ガード下、トンネル、建物内駐車場など上空を遮るものがある場合、雪、雨、曇天などの悪天候による場合、または衛星配置条件により受信可能な衛星が少ない時間帯など
 - ・GPS 衛星からの電波が建物などで反射して誤差が生じる場合

テレビ/GPS の受信妨害について

- 本製品を、動作中のほかの電子機器の近くで使用しないでください。他社のナビゲーション、GPS レーダー、ドライブレコーダー、FM ラジオ、機器アンテナ、テレビ、ノートパソコンなど、これらの電子機器の影響で GPS 電波やテレビ放送電波の受信状況が悪くなる場合があります。
 - 車の中でご使用する電子機器（FM ラジオ、ETC、Bluetooth、ドライブレコーダー、レーダー探知機など）による電波受信妨害や一部の車種に使用されている熱遮断用のガラス、フィルムなどにより電波が遮られ、電波の受信感度が悪くなったり受信しなくなることがあります。本体の GPS 受信がよくできるよう設置場所などを変更してください。
- ※設置位置変更による付属品の交換は出来かねます。設置前に受信状態をよく調べてから設置をしてください。

画面保護シートについて

- ご使用になる前には、画面保護シートをはがしてからご使用ください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
- 市販の保護シートは貼らないでください。誤動作の原因になります。

液晶ディスプレイ及びタッチスクリーンについて

- 本製品はタッチスクリーンが装着されていますが、取扱いには下記の点に注意してご使用ください。
 - ・直射日光などが当たると画面が反射し、見づらくなりますので、直射日光を遮るか、角度を変えて直射日光が当たらないよう調節してください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり液晶画面が故障するおそれがあります。
 - ・とがった物質（針やピンなど）を使用すると画面が損傷し、誤作動や故障の原因となります。
 - ・タッチスクリーンを操作する際には、強い圧力を加えたり衝撃などをあたえないでください。故障や破損の原因となります。
 - ・高温、高湿または極端に低温の場所では使用しないでください。
 - ・画面のお手入れの際にはアセトン、アルコール類、または酸性洗剤などは使用しないでください。
 - ・市販の液晶パネル保護フィルムを使用した場合、正常に作動しないことがあります。
- 液晶は製造過程において画素にいくつかの欠け（黒点・白点）が出る場合がありますが、製造上回避できない現象であり不具合ではございません。このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますので予めご了承ください。
- 寒いところでご使用の際、画面が尾を引いて見えたり、暗く見えたりする場合がありますが故障ではありません。温度が上がるにしたがって症状がなくなっていきます。
- 静止画を画面にしばらく映したままにしたとき、残像が出たままになる場合がありますが時間が経つとともに戻ります。使用中に画面や本体が暖かくなりますが故障ではありません。

内蔵バッテリーについて

- お買上時は、内蔵バッテリーが十分に充電されていません。充電した後にご使用ください。
- 内蔵バッテリーに充電した後でもご使用にならない場合は、自然放電し使用時間が短くなります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。繰り返しの充電によりバッテリーが消耗し使用時間も短くなります。
- 内蔵バッテリーに充電しても使用時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命(経年劣化)が考えられます。
- 内蔵バッテリーへの充電が少ない場合は、製品の電源が入らなくなる場合もあります。その際は、DCアダプターより充電後ご使用ください。
- 内蔵バッテリーのみでの長時間使用はできません。通常使用や長時間使用は、DCシガーケーブルやACアダプター（別売品）をご使用ください。
- 内蔵バッテリーのみでの使用時に画面の明るさ調節や音量調整などを頻繁に行うと使用時間が極端に短くなります。
- 内蔵バッテリーが入っている本製品を直射日光が当たる場所や炎天下の車内など高温になる場所に放置しないでください。（バッテリーの漏液・発熱・破損・発火の原因になる恐れがあります。）
- 内蔵バッテリーの漏液・異臭が発生した場合は、直ちにご使用を中止してください。また、漏液した電解液に絶対に触れないでください。
- 内蔵バッテリー充電中やナビ本体使用時などに本体裏面が熱くなる場合がありますが、製品の異常ではありません。
- 内蔵バッテリーの使用時間は、使用環境やバッテリーの劣化度により異なります。
- バッテリーを廃棄する場合はお住いの市町村のルールに従ってください。

電源について

- 給電は増設や加工をせず、車のシガーソケットに付属のDCアダプターを差し込んで行ってください。
- 必ず付属のDCアダプターをご使用ください。指定規格以外のDCアダプターを使用すると電源がはいるらない、動作しないといった不具合がおこる場合があります。またブルートゥース (Bluetooth) 機器などは電波障害を引き起こす場合がありますので使用しないでください。
- 長期間使用がなかった、または本製品の内蔵バッテリーのみで長時間使用された場合、電池切れで、電源が入らない場合があります。このような場合は、十分に充電をおこなってから電源スイッチを押してください。本製品を使用しないときは、必ず電源を切るようにしてください。
- 本製品には ACC 連動機能が装備されています。(一部車には対応していない場合があります。) 内蔵バッテリーでご使用の場合は必ず本体電源ボタンで ON/OFF の切り替えを行ってください。
- 付属のDCアダプターは車のエンジンをスタートさせてから接続してください。付属のDCアダプターを接続してから車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本製品の故障や不具合の原因となる場合があります。
- 規定以外のヒューズを使用すると火災や故障の原因になります。

その他

イヤホン(ヘッドホン)：別途お買い求めの上、ご使用ください。

(3.5mm ステレオミニジャック)

・miniUSB 入力端子：AC 電源アダプター / シガーライターアダプター / パソコンからの充電時に各電源ケーブルを接続する端子です。

※音楽、動画、写真、テキストなどデータは本体仕様に合わせパソコンから microSD カードにコピーしてください。

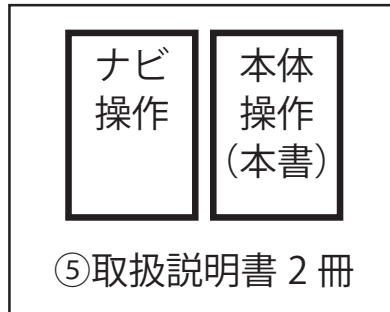
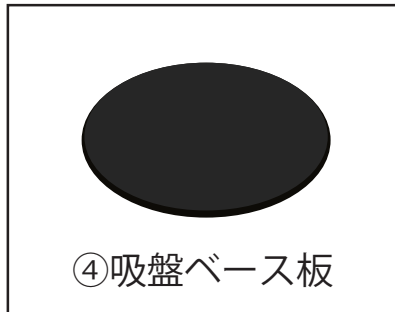
※パソコンはお客様ご自身でご用意ください。パソコンの操作などはサポート対象外となります。予めご了承ください。

免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、有償修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の保証書は本製品を業務用の車両(大型トラック・バス・タクシー・商用車など)に使用した場合適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、個人情報管理はお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は電子機器のため本製品から微弱な電磁波ノイズが発生することがあります。この微弱な電磁波ノイズが車両または車両に搭載されている機器に影響をあたえないように十分にご検討いただき、本製品の取り付けを行ってください。なお、本製品のご使用にあたり車両および搭載機器への影響による直接的、間接的な影響につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。また車両に搭載されている電子機器から発生する微弱な電磁波により、GPS 信号を受信できないなど本製品の機能が阻害される可能性もありますのでご注意ください。

商品構成

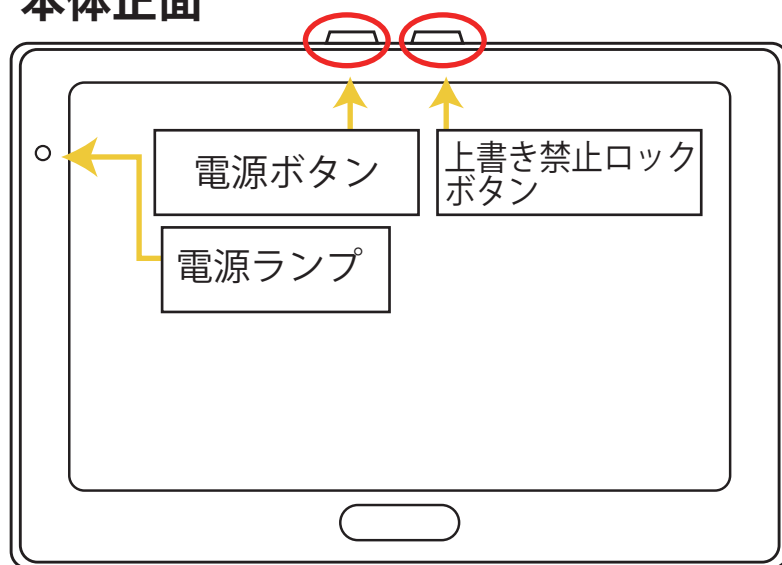
本製品を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。
(画像はイメージです。下記構成品イメージは実際の構成品と異なる場合があります。)



※商品構成⑥バックカメラ + バックカメラ用配線は、前後同時録画ドライブレコーダータイプ car-085 にのみ付属。
※取扱説明書に掲載された構成品は品質向上のため予告なしに変更される場合があります。

各部名称

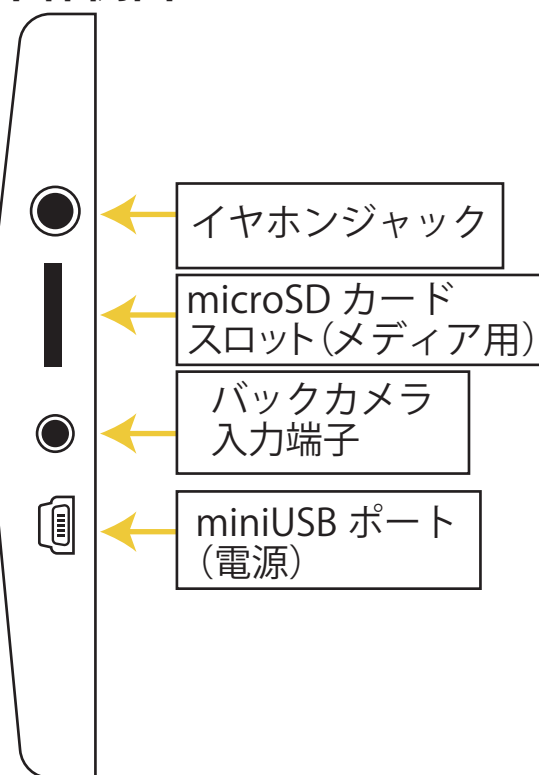
本体正面



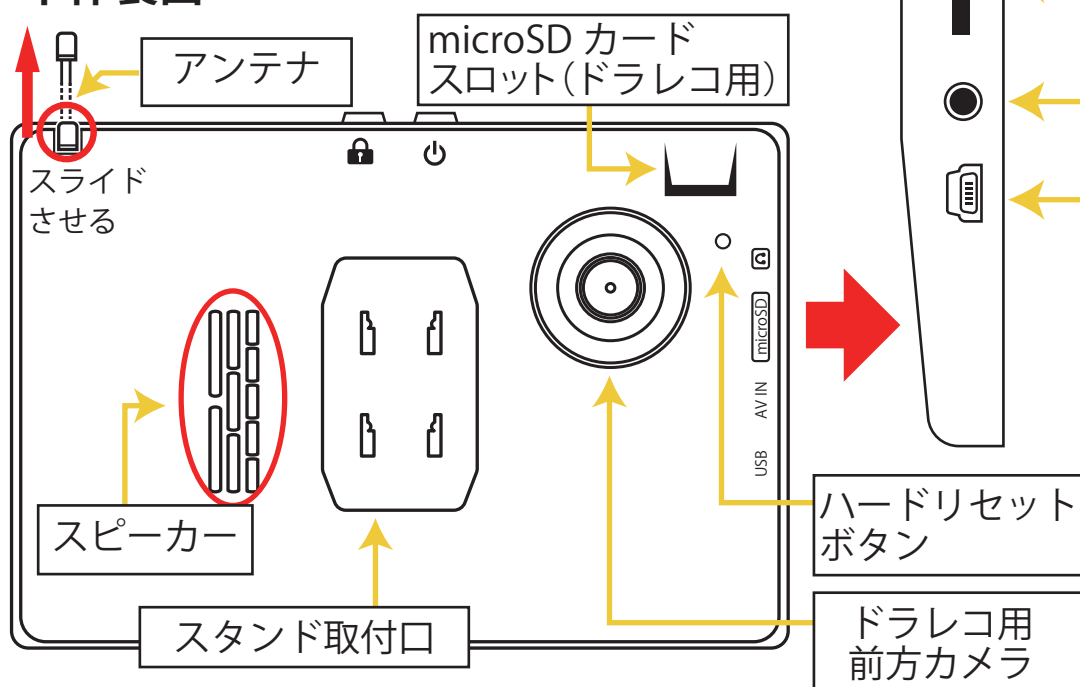
本体電源ランプ

赤点灯：充電中
緑点灯：本体起動中
(充電中は赤点灯)
消 灯：満充電

本体側面



本体裏面



※注意

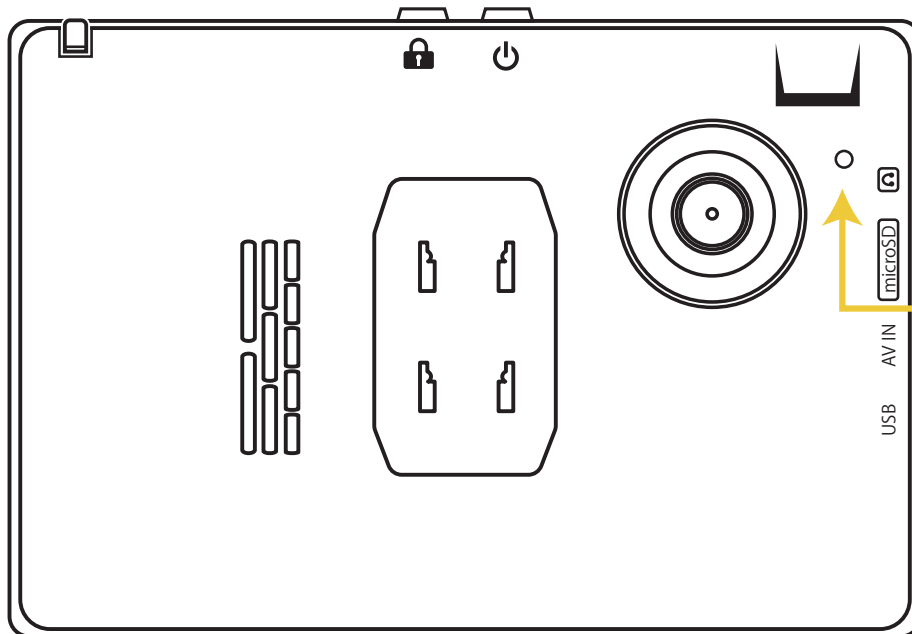
- 音楽・写真・テキスト表示を利用する際は別売りの microSD カードをご利用ください。本製品は再生のみ可能であり、編集・削除はパソコン上での操作となります。
- ドライブレコーダーを使用する際は別売りの microSD カードをご利用ください。
- ドライブレコーダー用の microSD カードスロットとメディア用の microSD カードスロットは差込口が異なります。
- 充電時及び内蔵バッテリーでご使用の際は背面が熱くなる場合がありますが故障ではありません。

リセット機能

ハードリセット

本製品になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、クリップのような細くて折れにくいもの（先のとがっていないもの）でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。

※ハードリセットをお行う場合は必ず microSD カードを抜いてください。



ハードリセット
ボタン

カチッと手応えがあるまで
押し込む。
15 秒長押しの後、
もう1度短押しで1回押す。

※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンを先の細いもので押してリセットを行ってください。

※ボールペンや爪楊枝など円錐形のものではしっかりと押せない場合があります。

パネルの保護フィルムについて

本製品種は、出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止の為に保護フィルムが貼られています。ご使用になる際は、保護フィルムを剥がしてご使用ください。貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

前方視界基準

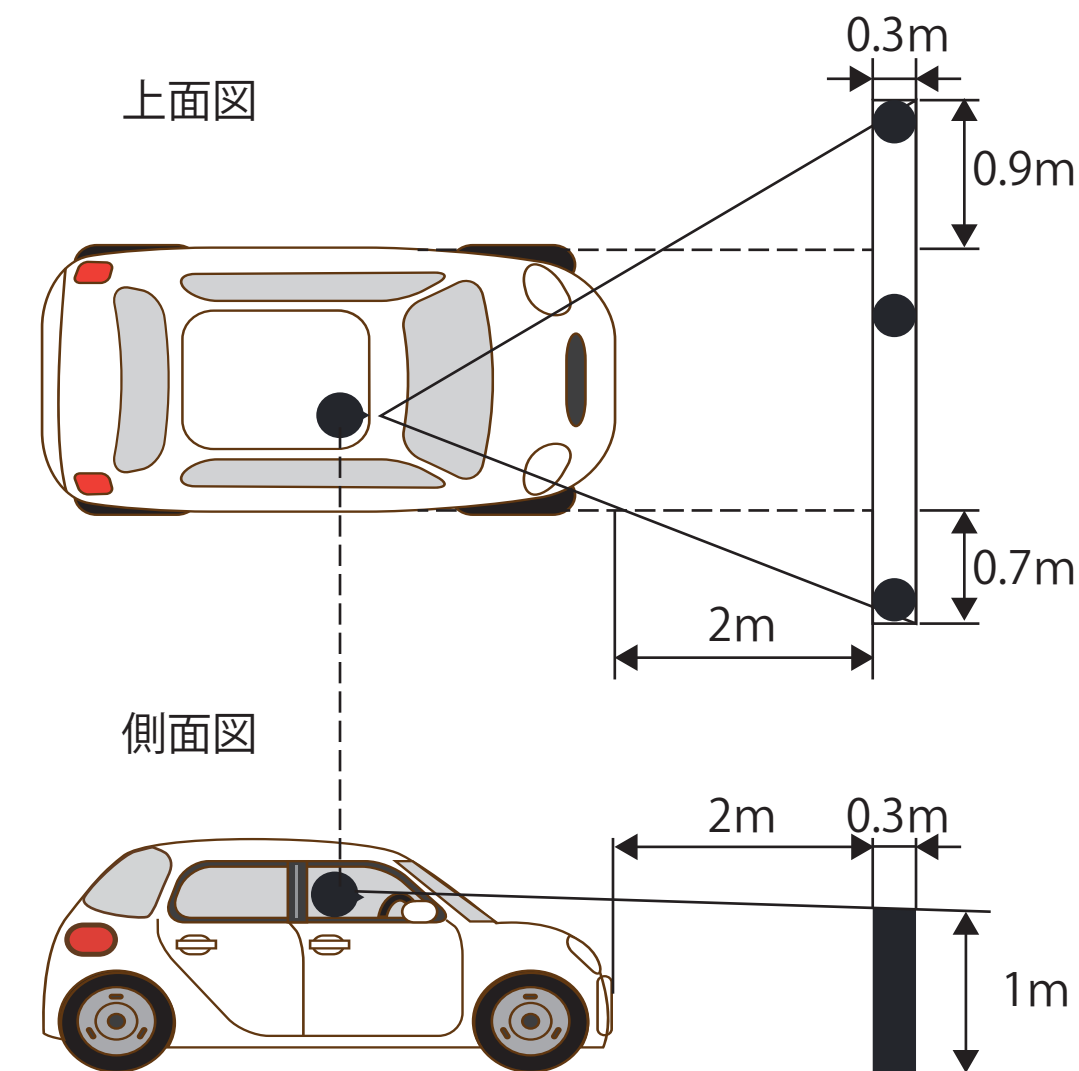
●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）

車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡などを用いず直接視認できること。



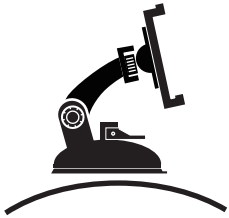
※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

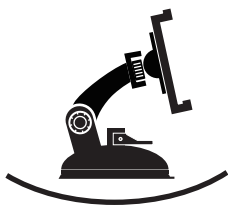
- 付属のスタンドを使用してください。
- エアバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーやご購入店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。

イラストはイメージです。

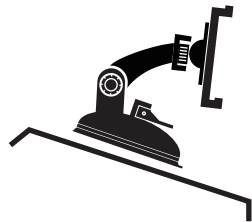
・密着しない曲面
例)凸面



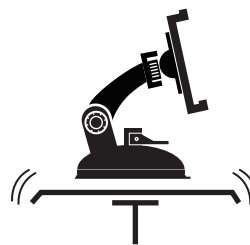
・密着しない曲面
例)凹面



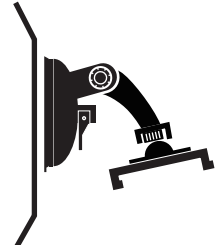
・傾いた面



・不安定な面



・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、前方視界を十分に確保でき安全基準を満たした位置であることを確認して貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラスなどにあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板の取り付け位置が決定したら、貼り付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 市販の両面テープ前処理剤などを使用するとききれいにふき取れます。
使用される場合は説明書をよくお読みになり、貼り付け面にはがれ、変形、割れなどの不具合の無いこと確認の上、取説に従ってご利用ください。
- 両面粘着テープの貼り付けは一回のみです。貼り直しはしないでください。
(貼り付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼り付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼り付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープなどが確実に取付いていることを確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

注意

ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所、高温になる場所で、ご使用になる場合

※ご使用にならないとき、長時間車から離れるときは、本体および吸盤スタンドをステーから外し、高温にならないところで保管してください。
高温による変形や落下による故障の原因になる場合があります。

スタンドの取付け方法

運転中の前方視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

ベース板を車に取り付ける

- ①吸盤ベース板の貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。貼り付け後は接着が安定するまで24時間以上置いてください。



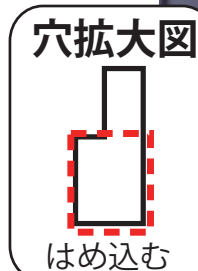
※画像はイメージです。

スタンドを組み立てる

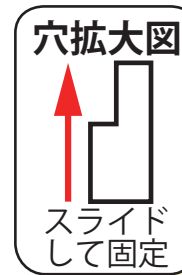


本体裏側にスタンドを取りつける。

爪が浮いて穴との間に隙間ができないよう注意



- ①本体裏の穴に車載用吸盤スタンドの爪をはめ込みます。



- ②図のように本体とスタンドを両手でスライドさせ固定します。(固定時、取外時はバチンと音になります。)

- ※スタンドと本体の上下方向に注意してください。
- ※スタンド取付部分は強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強めにバチンと音が鳴るまで押してください。また手順①で爪が浮いてナナメになった状態ではうまくスライドできません。
- ※本使用前に本体と吸盤スタンドがしっかりロックされていることを確認してください。
- ※本体を吸盤スタンドから取り外す際は、取付時とは逆方向に、両手でスライドさせてはずしてください。

スタンドを車(ベース板)に固定する

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定してください。



① 圧着させる。



② レバーを倒してベース板にしっかり固定させる。

ナビ本体の角度を調節する

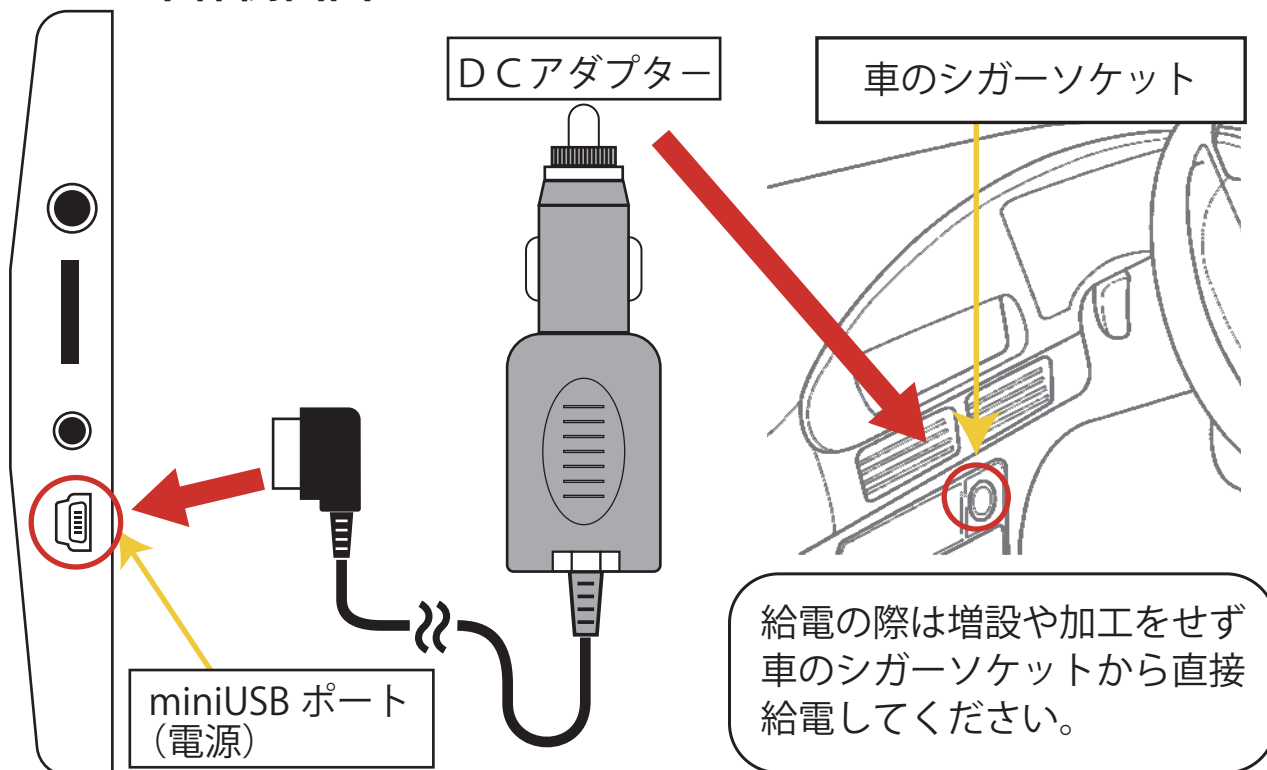
固定ナットを緩め、好みの角度に調整してから固定ナットをしめてください。



注意

- ※ 運転前に必ず、吸盤、固定部、固定ナット、粘着テープ、ロックをご確認いただき確実に取付けができていないか確認の上ご使用ください。
- ※ 万が一、落下などによる液晶、タッチパネルの破損があった場合補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

ナビ本体側面図



① DCアダプターを車のシガーソケットにさす。

② 本体側面の miniUSB ポートに DCアダプターを接続する。

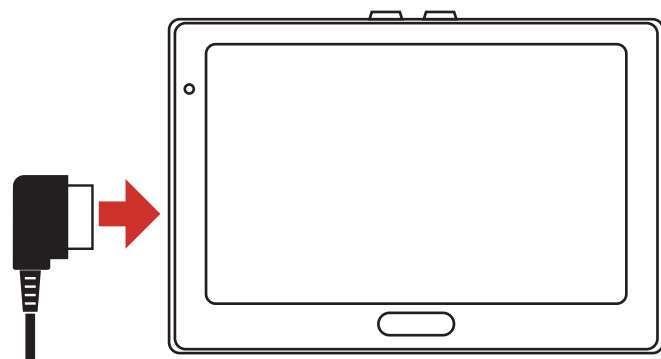
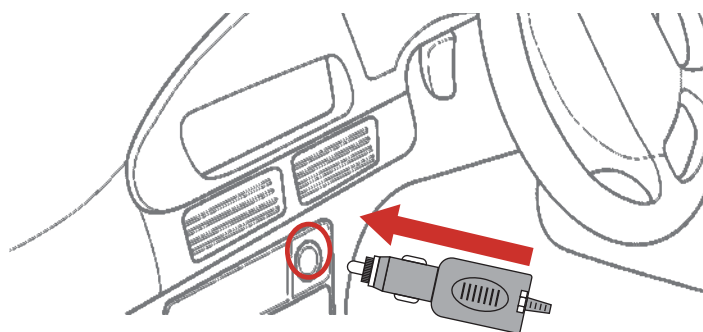
※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。

※DCアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。

※奥までしっかりとさしてください。

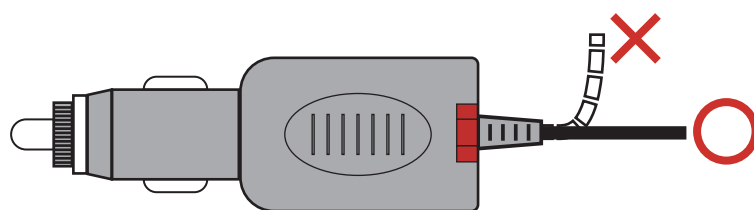
※配線は運転に支障の無い様に配線してください。

※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。プラグやソケットの接続不良になる場合があります。



本体電源ランプ

- 赤点灯：充電中
- 緑点灯：本体起動中
(充電中は赤点灯)
- 消 灯：満充電



DCアダプターのコードは根元から折り曲げないでください。断線、発火の原因になることがあります。

電源について

本製品は、お車のシガーソケット(DC12Vまたは24V)から付属のDCアダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

イグニッションキー連動電源 ON/OFF 機能について

本製品は、エンジン連動機能(オートスタート機能)を搭載しています。お車のシガーソケットに付属DCアダプターを接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本製品の電源も自動的にON/OFFができます。

※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフになる場合があります。

※一部車種では使用できない場合があります。

充電について

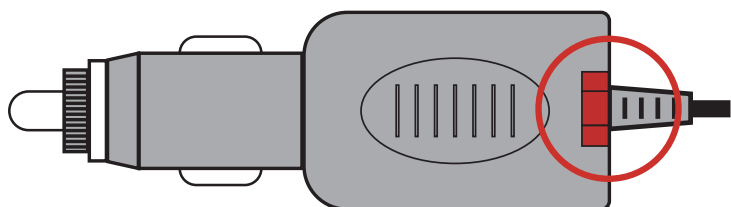
初回使用時や、前回の乗車から時間が空いた時などは、内蔵のバッテリーの蓄電が少なくなっています。必ず下記方法で初期充電を行ってください。

- ①車載用 DC アダプターを接続します。(充電中は電源ランプが赤点灯します)
- ②電源ボタンをOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。

フル充電時間約 4 時間

※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。その際は電源 OFF 状態で、最低 30 分以上の充電を十分におこなってから電源をいれてください。



正常に通電できている場合 DC アダプターのランプが赤く点灯します。



画面にこのマークが出たときはバッテリー残量が不足しています。充電を行ってください。

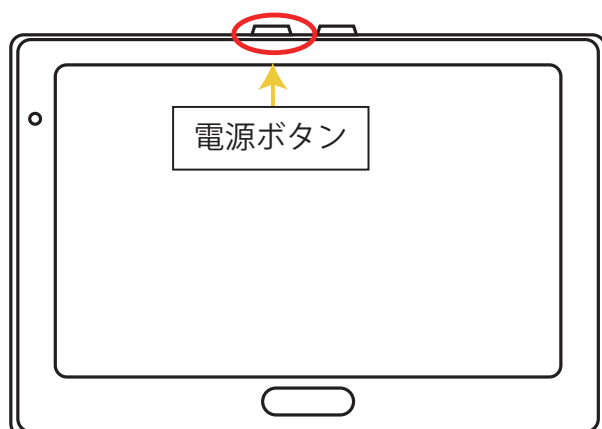
操作説明

1 電源を入れる / 切る

付属の DC アダプターをナビ本体にセットし、車のシガーソケットに差し込んだ状態でエンジンをかけると、DC アダプターに電気が流れて自動で電源がつきます。エンジンを切ると DC アダプターへの給電が止まり自動で電源が切れます。※一部車種により異なります。

手動で電源を入れる / 切る

ナビ本体の電源ボタンを約 3 秒間長押しする。



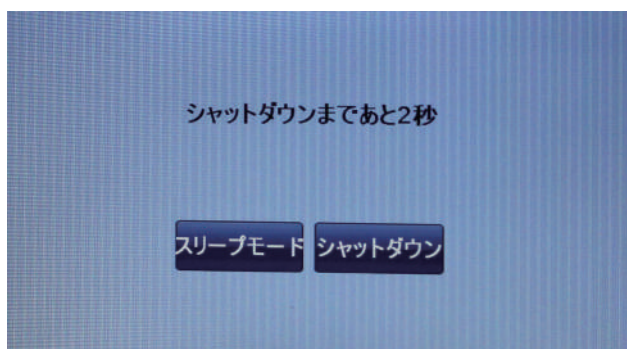
①電源を入れる

電源が切れた状態で約 3 秒間電源ボタンを長押しするとナビ本体が起動しメインメニュー画面に切り替わります。



①電源を切る

電源が入っている状態で約 3 秒間電源ボタンを長押しするとシャットダウンメニューが表示されます。数秒間操作がない場合は自動で電源がオフになります。



- ・「シャットダウン」・・・すぐに電源が切れます。
- ・「スリープモード」・・・スタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。

2 メインメニュー

電源起動後、自動でメインメニュー画面が表示されます。
ナビゲーション、テレビ、メディア、ドラレコ、設定の5つから使用したい機能のアイコンを選択してタッチしてください。



ナビゲーション
目的地までの案内をする機能です。
詳しくは別紙参照。
(ナビゲーション操作説明書)



ドラレコ
ドライブレコーダー操作を行う機能です。



TV
ワンセグテレビを見るための機能です。



設定
本体設定の操作を行う機能です。
(タッチ音・時間など)



マルチメディア
microSD カードに保存した音楽、動画、書籍、静止画などを再生できる機能です。



バッテリー残量表示



満充電時



充電中
(1メモリずつ増える)

3 ワンセグTV①

メインメニュー画面から「TV」アイコンを選択してタッチするとワンセグテレビの機能を使用できます。

初回使用時は使用前に必ずチャンネル設定を行ってください。



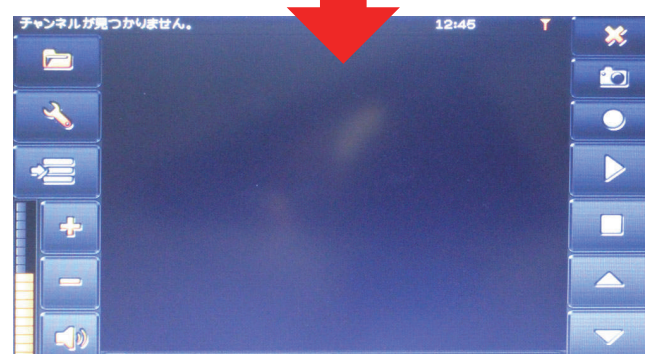
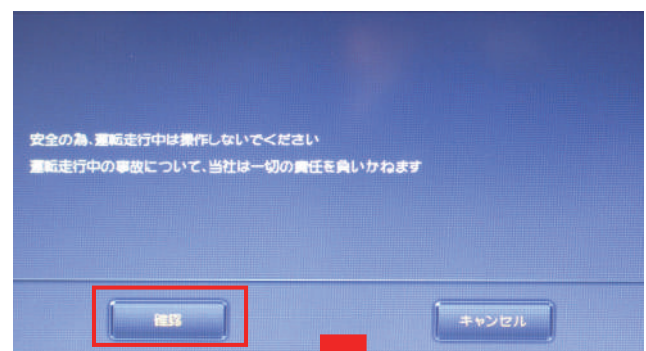
免責事項

「TV」アイコンをタッチすると免責事項の案内画面に変わります。必ず内容をよく確認してください。

「確認」をタッチするとワンセグTV操作画面へと移動します。

「キャンセル」をタッチするとメインメニュー画面へ戻ります。

ワンセグTVをご利用の際は必ずアンテナを伸ばしてください。



3 ワンセグ TV②

ワンセグテレビ操作画面の機能



①チャンネル	現在表示されているチャンネルです。
②録画データ	録画したデータの一覧です。
③ワンセグ TV 設定	ワンセグテレビに関する設定ができます。
④番組表 (EPG)	番組表を確認することができます。
⑤音量	音量を上げる 消音 ON/OFF 音量を下げる
⑥時間表示	時間の表示です。
⑦アンテナ表示	電波状態の表示です。 電波最大 電波なし
⑧ワンセグ TV 終了	TV を終了してメインメニューへ戻ります。
⑨静止画	再生中画面の静止画を撮影します。※ 1
⑩録画	再生中の番組を録画します。※ 1
⑪再生 / 一時停止	録画を再生 / 一時停止します。
⑫停止	録画を停止させます。
⑬チャンネルを変える	ひとつ前のチャンネルへ戻る ひとつ後のチャンネルへ進む

※ 1 : 別売りの microSD カードが必要です。

3 ワンセグTV③

ワンセグTVの各種設定

ワンセグTV設定をタッチ
ワンセグTVトップ画面から「設定」
アイコンをタッチしてください。



チャンネル

利用地域に合わせて受信可能な
放送局の設定などができます。



ビデオ

ビデオ再生時の画面サイズの調節
ができます。



基本設定

言語、音声、字幕、などの基本
設定ができます。



情報

現在システムのバージョン情報
を確認できます。



戻るときは左上の矢印をタッチしてください。

3ワンセグTV④

チャンネル設定（スキャン操作） 1

ご利用の地域に合わせてチャンネルを調整します。

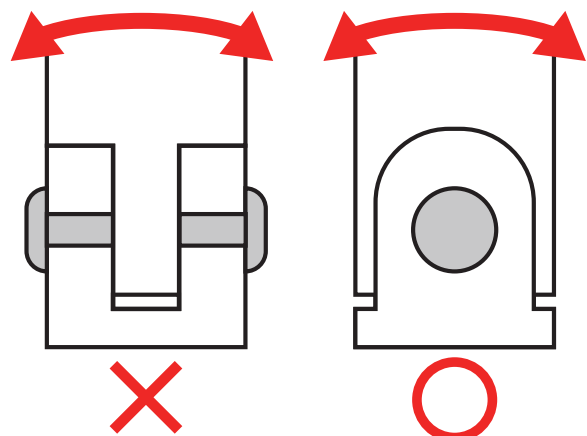
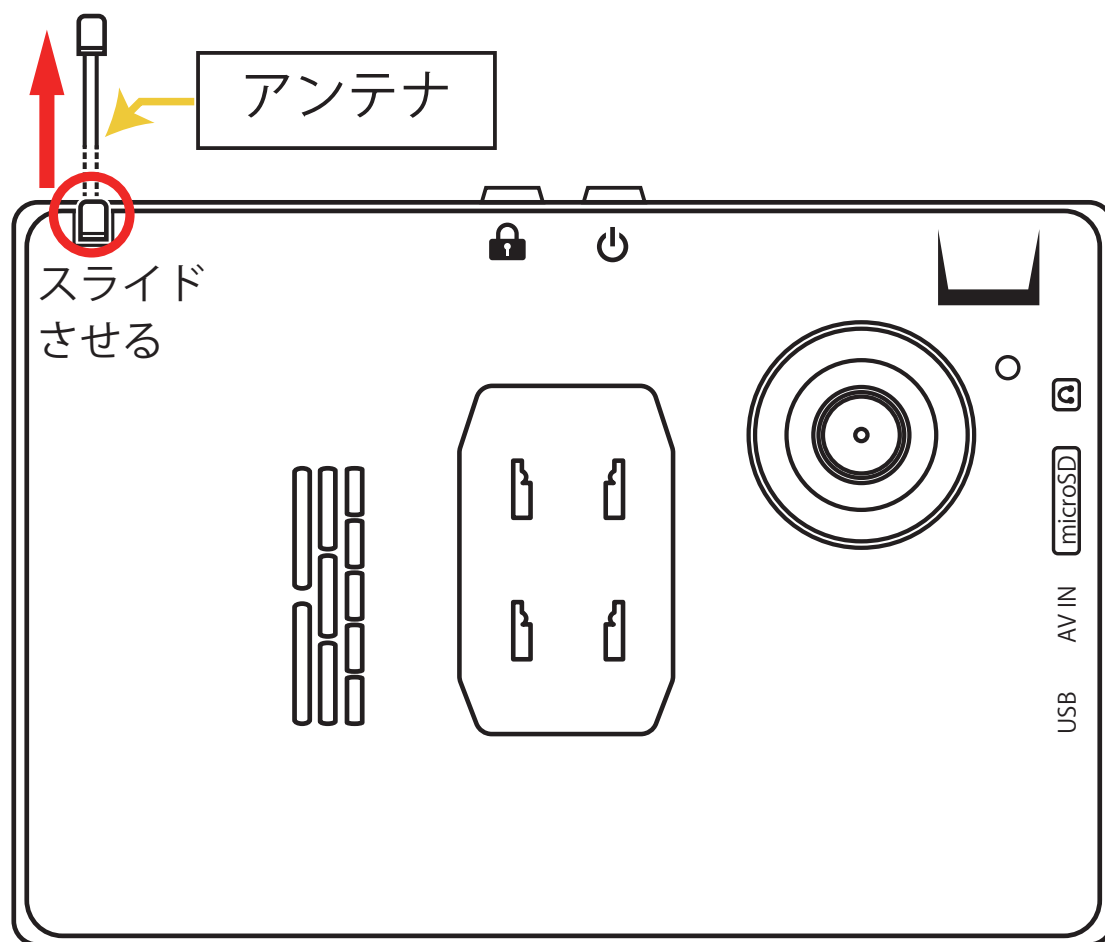
初回使用時は使用前に必ずチャンネル設定を行ってください。

初回設定後は、地域が変わらない限りこの操作は必要ありません。

①見晴らしが良く受信環境の良いところでアンテナをのぼす。

アンテナは本体裏面、上部に収納されています。引き出すときは、まっすぐゆっくりと可動部が出るまで引き出してください。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押し込んでください。



注意

アンテナ根本部分は、ビスでとまっている状態です。無理な方向にアンテナを動かしたり、引っ張ったりすると破損の原因となります。

3 ワンセグTV⑤

チャンネル設定（スキャン操作） 2

②ワンセグTV設定をタッチ
お近くの受信可能な放送局を
設定するためにスキャン操作を
行います。
ワンセグTVトップ画面から「設定」
アイコンをタッチしてください。



③「チャンネルメニュー」から
「地域」を選択
ワンセグTV設定のタブが
「チャンネル」であることを確認
して、「地域」をタッチしてください。



④ご利用地域を選択
ご利用地域を選択します。
例：「近畿」→「兵庫」を選択

兵庫県の受信可能な放送局一覧
が表示されます。
※この時点では受信できない放送
局も含まれる場合があります。



④チャンネルをスキャンする
「スキャン」をタッチすると
受信可能な放送局の検索を
開始します。



3ワンセグTV⑥

チャンネル設定（スキャン操作） 3

⑤「適用」をタッチ

スキャンが終わると「スキャン完了」と表示されます。

スキャン完了後、「適用」をタッチすることにより放送局の設定ができます。



お車などで長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。

その際は、再度新しい地域での再スキャンもしくはALLで再スキャンを行ってください。

受信局がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。



3 ワンセグ TV⑦

ワンセグ TV の基本設定 1

言語設定

日本語：設定画面が日本語で表示されます。

English：設定画面が英語で表示されます。

音声チャンネル構成

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

音声スイッチ

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ 1 ⇄ オーディオ 2

字幕

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効：字幕放送時の字幕は画面に表示されません。

日本語：字幕放送時の字幕は表示されます。

放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより二ヶ国語、副音声、ステレオ音声(ステレオイヤホン使用時)をご利用できます。番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、オーディオ 1 に戻してから切換えてください。

電源OFF ON やテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的にオーディオ 1 に戻ります。

ワンセグ TV の基本設定 2

①ワンセグ TV 設定をタッチ

ワンセグTVトップ画面から「設定」アイコンをタッチしてください。



3 ワンセグ TV⑧

ワンセグ TV の基本設定 3

②基本設定

言語、音声、字幕、などの基本設定ができます。

操作したい設定の右側の▼をタッチしてください。

プルダウンメニューが開きます。選択したい方をタッチしてください。

音声から字幕まで同じ方法で設定してください。

最後に「適用」をタッチして設定を完了してください。



3 ワンセグ TV⑨

ワンセグ TV のビデオ設定

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

アスペクト比

画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像
(上下をのばした画像)

レターボックス：横長の画面を上下に黒枠が出た状態横長の画面を
上下に黒枠が出た状態で表示されます。

①ワンセグ TV 設定をタッチ

ワンセグTVトップ画面から「設定」
アイコンをタッチしてください。



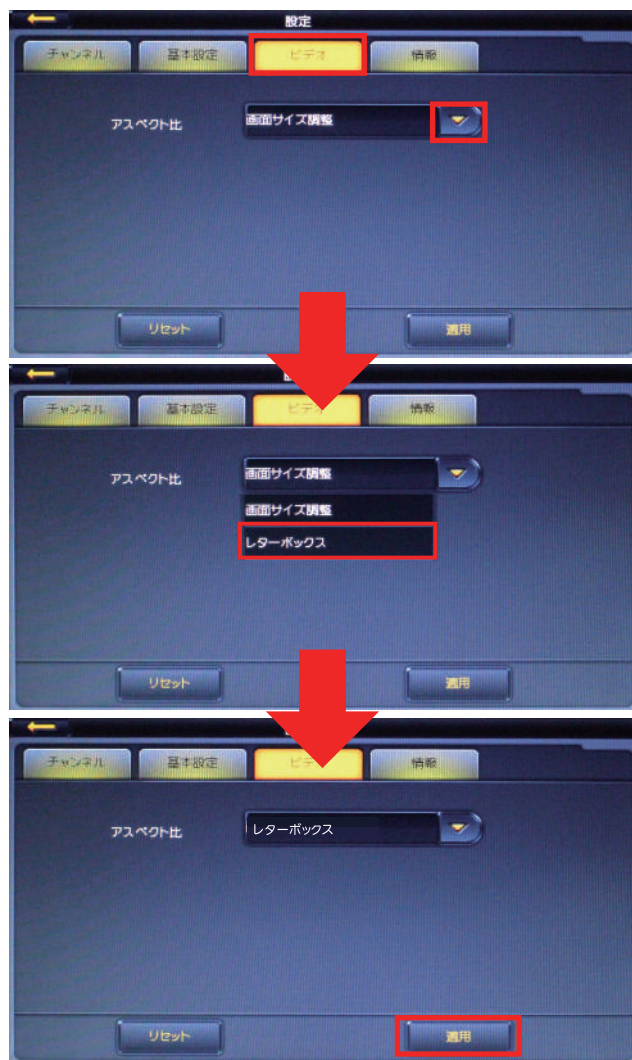
ビデオ

ビデオ再生時の画面サイズの調節
ができます。

画面サイズ調整右側の▼をタッチ
してください。

プルダウンメニューが開きます。
選択したい方をタッチしてくだ
さい。

最後に「適用」をタッチして
設定を完了してください。



3ワンセグTV^⑩

ワンセグTVの番組表 1

EPG（電子番組表）でその日の番組内容を確認できます。



① 表示できるチャンネル一覧	⑦ 選択しているチャンネルの時間別番組
② 選択しているチャンネル	⑧ 番組の詳細
③ 選択している番組	⑨ 上へ 任意の場所まで移動
④ 放映される日にち	下へ
⑤ 通常番組表	⑩ ひとつ前の画面に戻る
⑥ お気に入り番組表	

3 ワンセグ TV①①

ワンセグ TV の番組表 2

①ワンセグ TV 番組表をタッチ
ワンセグTVトップ画面から「番組表」
アイコン(EPG)をタッチしてください。



②番組情報を開く
左の番組の中から詳細を知りたい番組右側のアイコン **i** をタッチすると、そのチャンネルの番組情報が表示されます。



③番組の詳細情報を見る
画面右側の番組予定表をタッチするとその番組の詳細情報が表示されます。

お気に入りについて

よく見るチャンネルは右側の星マーク「☆」をタッチするとお気に入りのチャンネルとして登録できます。

登録状態：「☆」が黄色くなる

ハートのアイコン **♡** をタッチすると登録したチャンネルの一覧を見ることができます。

- ※番組登録はできません。
- ※チャンネルスキャンが出来ていない場合お気に入り登録はできません。



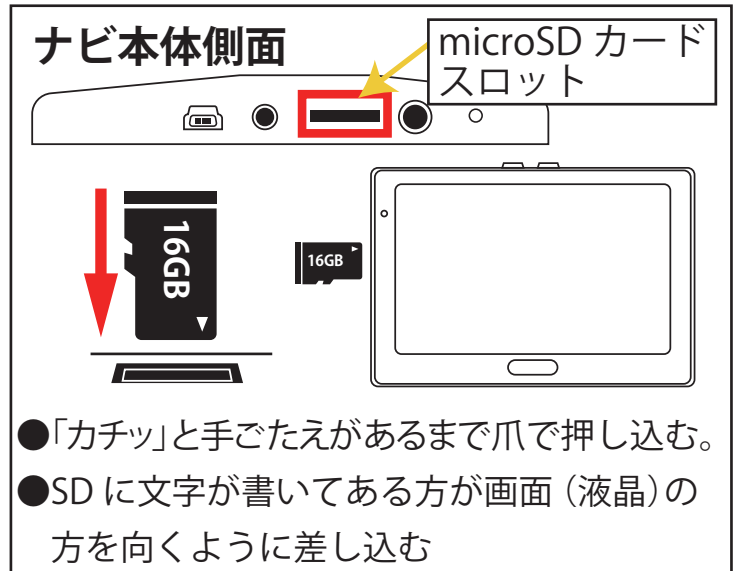
3 ワンセグ TV^⑫

番組を録画する

視聴しているテレビ番組を microSD カードに録画することができます。

①空の microSD カードをいれる。
ナビ本体側面の microSD カードスロットに空の SD カードを挿入してください。


microSD カードを挿入する際は向きなどにご注意のうえ無理に差し込んだりせず、まっすぐ慎重に、カチッと手ごたえがあるまで入れてください。

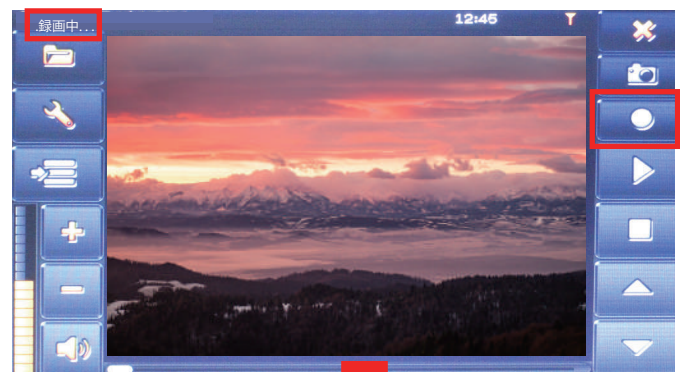



※差し込みが不十分な場合、SD カードが飛び出すことがあります。
紛失に注意して下さい。

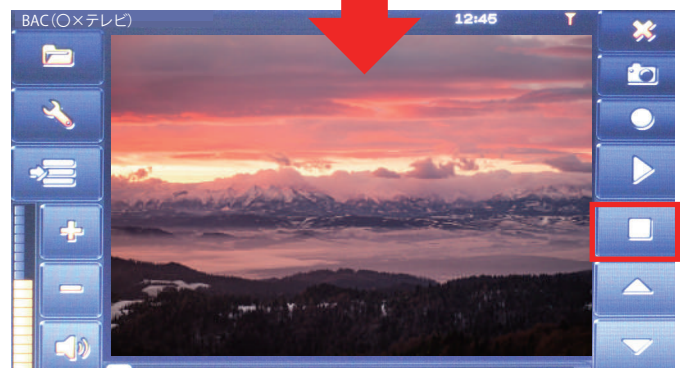
※本体背面の SD カードスロットはドラレコ用です。
入れ間違いにご注意ください。

②番組を録画する

録画したい時に画面右側「録画」アイコン  をタッチすると録画開始します。
画面左上のチャンネル名が「録画中...」にかわります。




③録画を終了（ストップ）する
録画中に画面右側「停止」アイコン  をタッチすると録画を停止します。



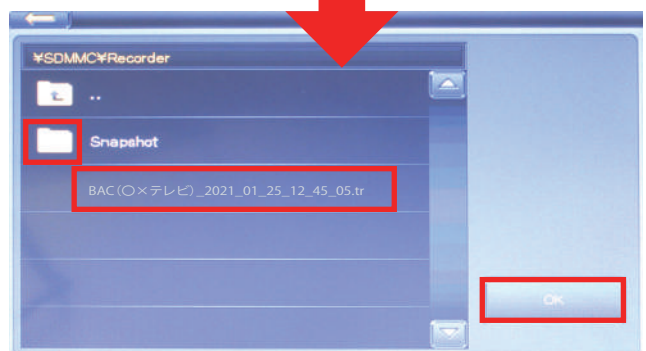
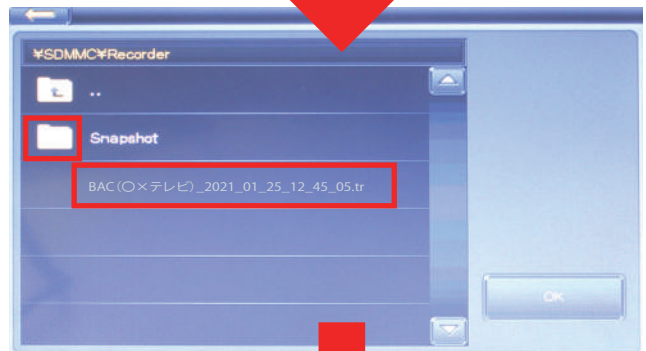
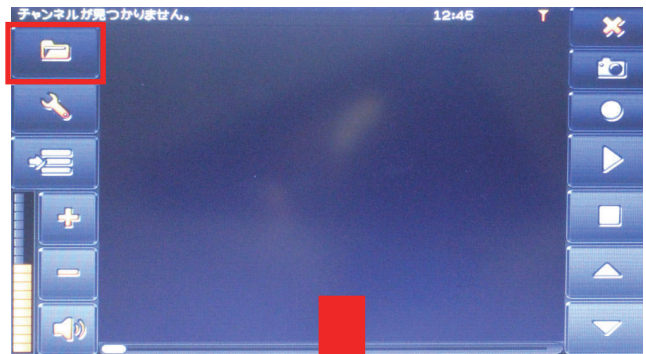
3 ワンセグTV^⑬

番組を再生する

①録画を再生する


録画を再生するときは画面左上「録画データ」アイコン  をタッチし録画したデータを選んでください。


録画データを選択後、「OK」をタッチしてください。
(放送局名、録画日時がファイル名になります)




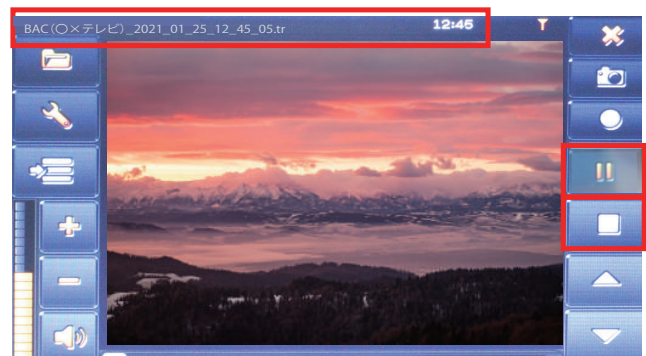
②再生中の表示

録画再生中は画面左上の表示が再生中のファイル名になり日付が収録した日時にかわります。

再生中の録画を一旦停止する場合は画面右側の「一時停止」アイコン  をタッチしてください。

一旦停止中の録画を再生する場合は画面右側の「再生」アイコン  をタッチしてください。

再生 / 一時停止中の録画を完全停止する場合は画面右側の「停止」アイコン  をタッチしてください。



※ワンセグTVで録画した動画は「メディア」→「動画」での再生はできません。「テレビ」の「録画データ」からご覧ください。

3 ワンセグ TV^⑭

静止画を保存する

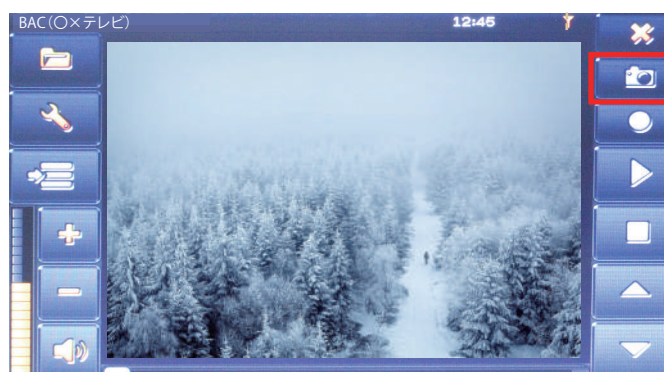
視聴しているテレビ番組の静止画を microSD カードに保存することができます。

①空の microSD カードをいれる。

ナビ本体側面の microSD カードスロットに空の SD カードを挿入してください。

②静止画を撮影する


静止画を撮影したい瞬間に画面右側「静止画」アイコン  をタッチすると静止画を撮影します。

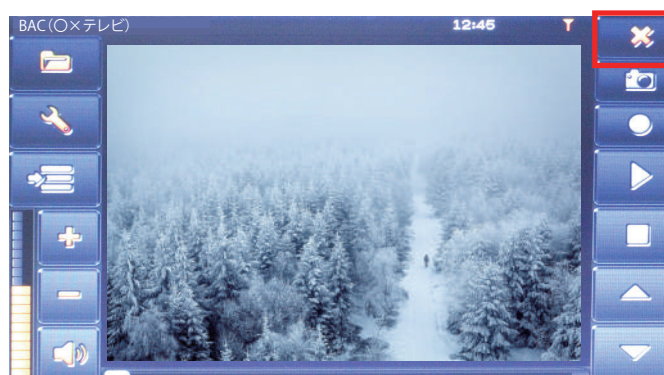


静止画を再生する 1

静止画を再生するときは「TV」からは再生できません。一度「メインメニュー」画面に戻り、「マルチメディア」から再生してください。

①ワンセグ TV 終了を終了する

画面右上の「終了」アイコン  をタッチすると、ワンセグ TV を終了してメインメニュー画面へ戻ります。



3ワンセグTV^⑮

静止画を再生する 2

②マルチメディアから静止画を再生します。

メインメニュー画面のマルチをタッチして
マルチメディアトップ画面を開きます。



③フォトを選択

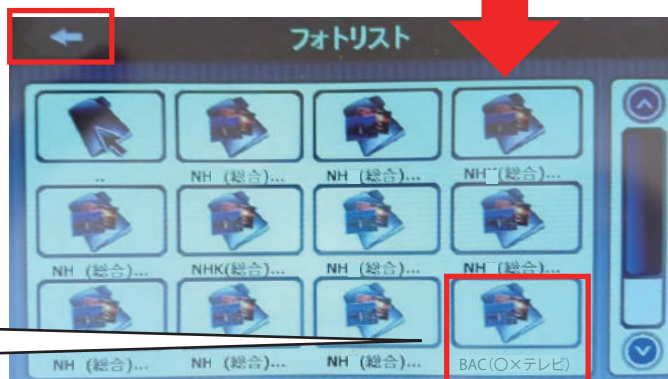
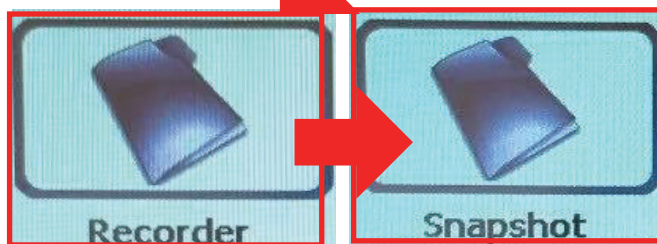
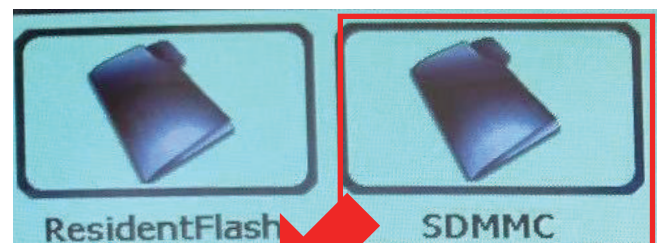
マルチメディアトップ画面から
フォトを選択します。



③記録したファイルを選択

「SDMMC」→「Recorder」
→「Snapshot」の順に選択後、
見たい画像を選んでタッチし
てください。

1つ前の画面に戻る場合は
画面左上の「戻る」アイコン
← をタッチしてください。



4 マルチメディア①

マルチメディア機能ではパソコンなどからmicroSDカードに保存した動画、音楽、写真、電子書籍をお楽しみいただけます。
メインメニュー画面から「マルチメディア」アイコンを選択してタッチするとマルチメディア機能を使用できます。



ミュージック

音楽の再生ができます。

ビデオ

映画や映像を再生できます。

フォト

静止画を再生できます。

電子書籍

電子書籍を再生できます。

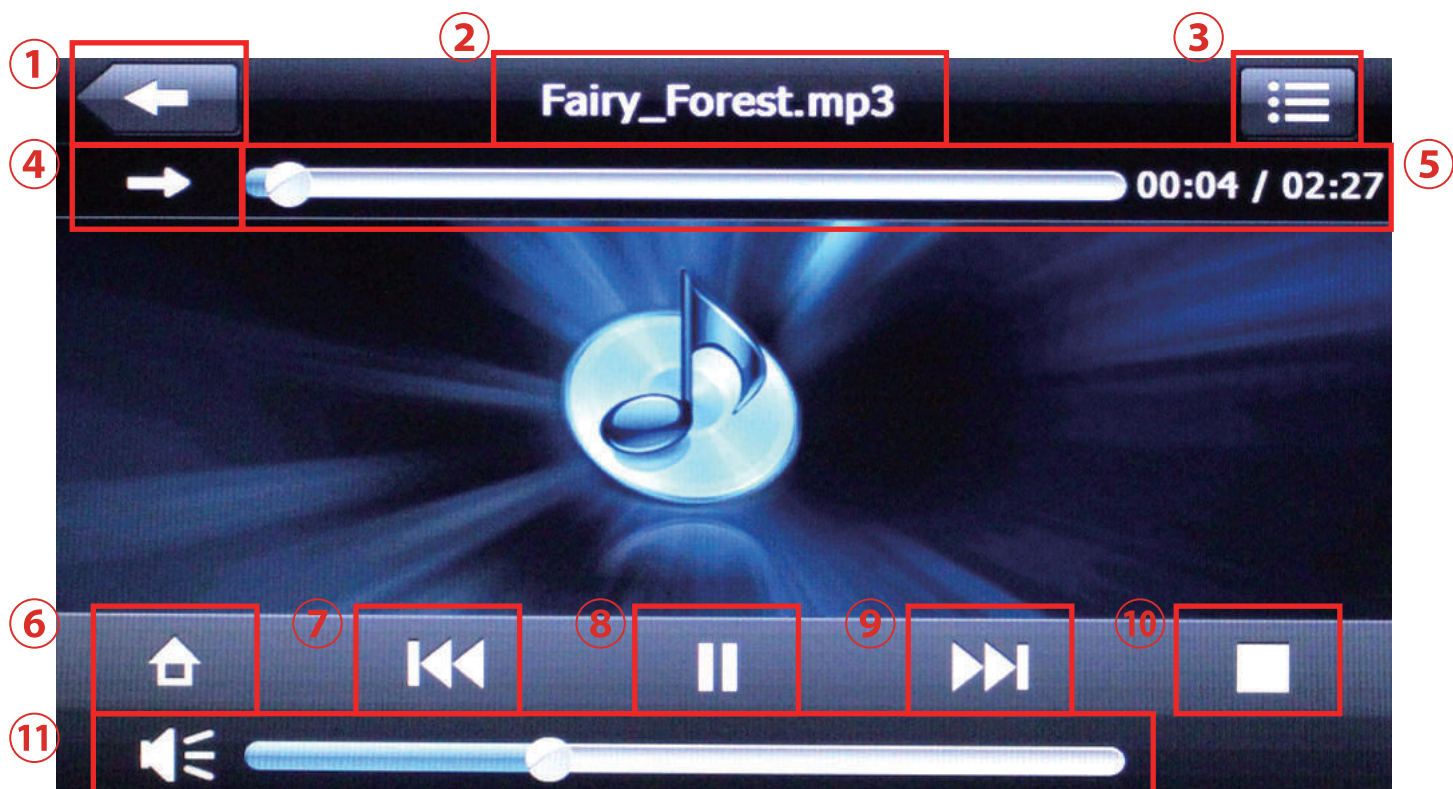










※マルチメディアをご利用いただく場合は必ず、microSDカードをご自身で用意していただき事前にパソコンなどからメディアを保存してください。

※メモリーカード規格については製品仕様（P72）をご参照ください。

4 マルチメディア②

音楽再生操作画面の機能



①メディアトップへ 戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②曲名	現在再生 / 表示中の曲名を表示します。
③ミュージック選択へ 戻る	ミュージック選択の画面へ戻ります。
④リピート	 リピートなし  ランダム再生  一曲リピート  全曲リピート
⑤再生時間	視聴中の曲の再生時間を表示します。  再生中○をタッチし左右に動かすと 任意の場所から再生できます。
⑥ホーム	音楽再生をしたままトップ画面へ戻ります。
⑦前の曲	1 つ前の曲を再生します。
⑧再生 / 一時停止	 停止中の音楽を再生します。  再生中の音楽を一時停止します。
⑨次の曲	1 つ後の曲を再生します。
⑩停止	再生中の曲を停止します。
⑪音量	○をタッチし左右に動かすと音量を調節 できます。 小  大

4 マルチメディア③

音楽を聴く

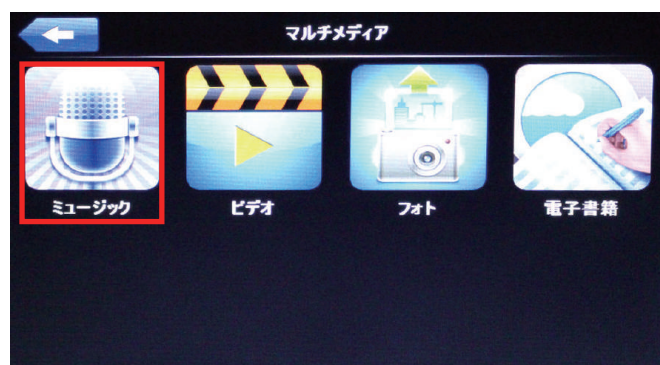
microSD カードに保存した音楽を聴くことができます。

①音楽を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

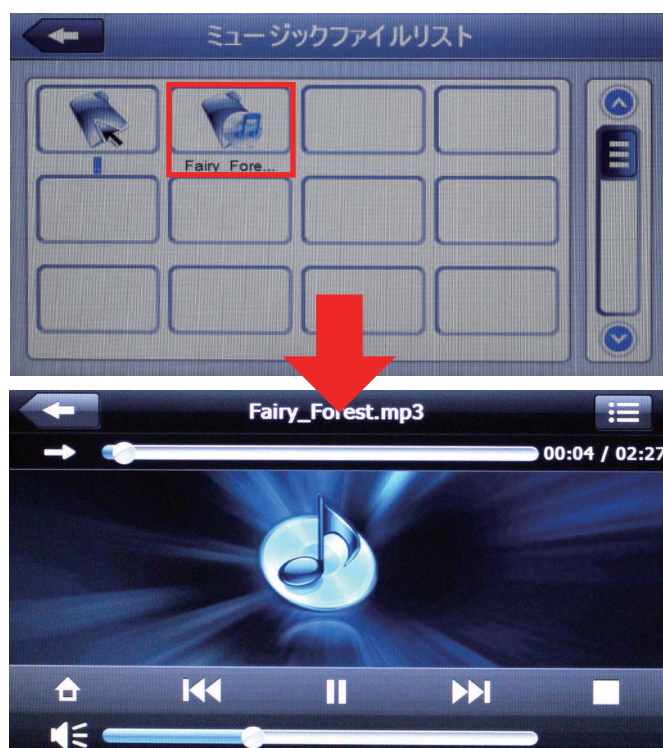
②ミュージックを選択

マルチメディアトップメニューから、「ミュージック」アイコンを選択してタッチしてください。



②聴きたい音楽を選択






保存した音楽ファイルから聴きたい音楽ファイルを選択して音楽を再生できます。選択した音楽は自動で再生されます。



4 マルチメディア④

動画再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②再生中のファイル名	現在再生/表示中のファイル名を表示します。
③動画ファイル選択画面へ戻る	動画ファイル選択の画面へ戻ります。
④再生 / 一時停止	 停止中の動画を再生します。  再生中の動画を一時停止します。
⑤再生時間	視聴中の動画の再生時間を表示します。  再生中○をタッチし左右に動かすと任意の場所から再生できます。
⑥次の動画へ進む	次のファイルの動画を再生します。
⑦再生中の動画	再生中の動画をタッチすると画面の大きさが切り替わります。
⑧音量	○をタッチし左右に動かすと音量を調節できます。 小  大
⑨明るさ調整	画面の明るさを調整できます。○をタッチし左右に動かすと明るさを調節できます。 暗い  明るい

4 マルチメディア⑤

動画を見る

microSD カードに保存した動画を視聴することができます。

①動画を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

②ビデオを選択

マルチメディアトップメニューから、「ビデオ」アイコンを選択してタッチしてください。



③視聴したい動画を選択

保存した動画ファイルから視聴したい動画ファイルを選択して動画を再生できます。選択した動画は自動で再生されます。



※本製品で再生出来る動画のサイズは標準画質(SD)までです。高画質(HD)には対応していません。

※動画データによっては本製品では再生できないものもあります。

※microSD カードによっては、再生されないこともあります。

4 マルチメディア⑥

静止画再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②表示中のファイル名	現在表示中のファイル名を表示します。
③静止画ファイル選択画面へ戻る	静止画ファイル選択の画面へ戻ります。
④表示中の静止画	選択した画像を表示します。
⑤画像の拡大	表示中の画像を拡大します。
⑥画像の縮小	表示中の画像を縮小します。
⑦画像の回転	表示中の画像を回転して表示させます。
⑧前の画像に戻る	1つ前の画像ファイルへ戻ります。
⑨次の画像へ進む	1つ後の画像ファイルへ進みます。
⑩全画面表示	画像をフルスクリーンで表示します。
⑪スライドショー	ファイルに記録された画像を順番に表示させます。

4 マルチメディア⑦

静止画を再生する

microSD カードに保存した静止画画像を観賞することができます。

①画像を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

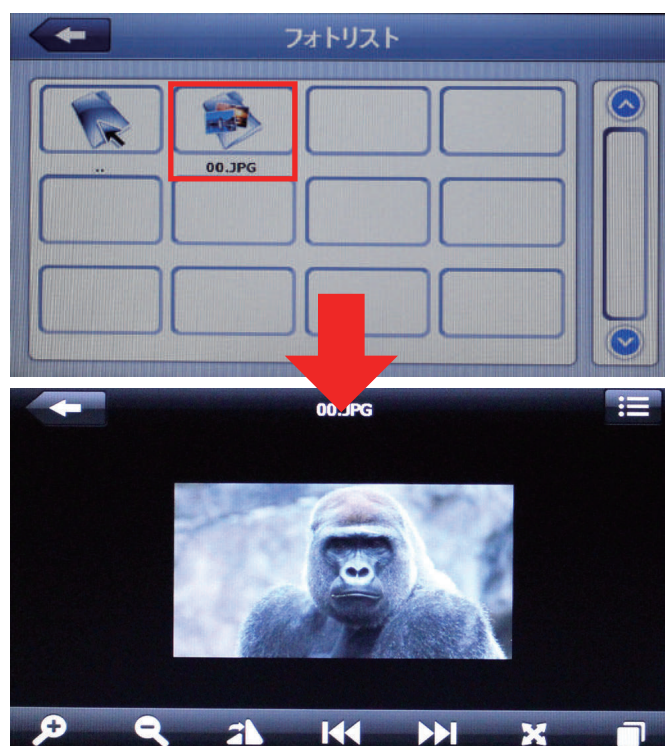
②フォトを選択

マルチメディアトップメニューから、「フォト」アイコンを選択してタッチしてください。



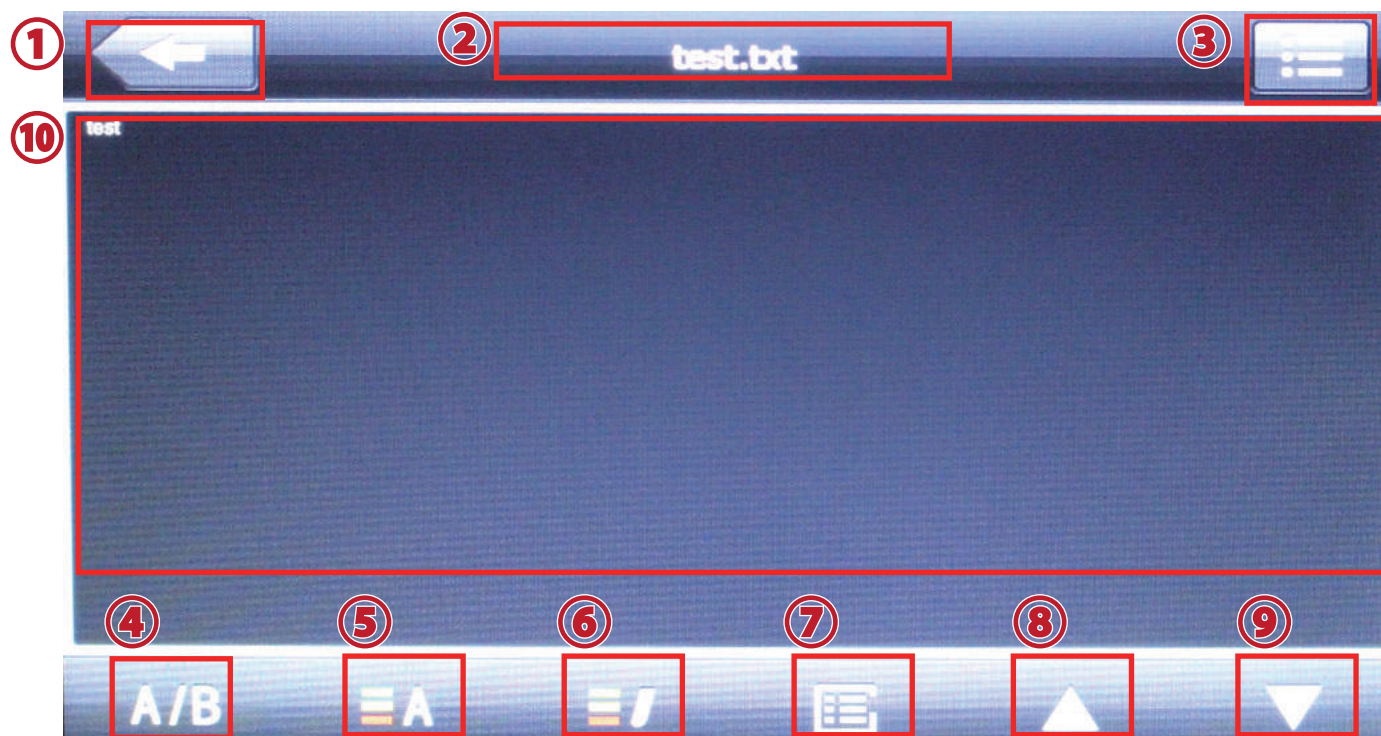
③観賞したい静止画を選択

保存した静止画画像ファイルから観賞したい静止画画像ファイルを選択して画像を再生できます。



4 マルチメディア⑧

電子書籍再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②表示中のファイル名	現在表示中のファイル名を表示します。
③電子書籍ファイル 選択画面へ戻る	電子書籍ファイル選択の画面へ戻ります。
④文字サイズの変更	文字の太さ・文字サイズを変更します。
⑤色の変更	文字・選択・背景の色を変更します。
⑥ブックマーク登録	選択箇所をブックマークとして登録します。
⑦ブックマークリスト	登録したブックマークのリストです。選択すると選択箇所から再生します。
⑧戻る	前へ戻ります。
⑨進む	先へ進みます。
⑩テキスト	表示テキストです。2回素早くタッチすると画面が拡大します。再度2回素早くタッチすると操作画面に戻ります。

※画像ファイル、漫画などの再生はできません。

4 マルチメディア⑨

電子書籍を再生する

①電子書籍を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

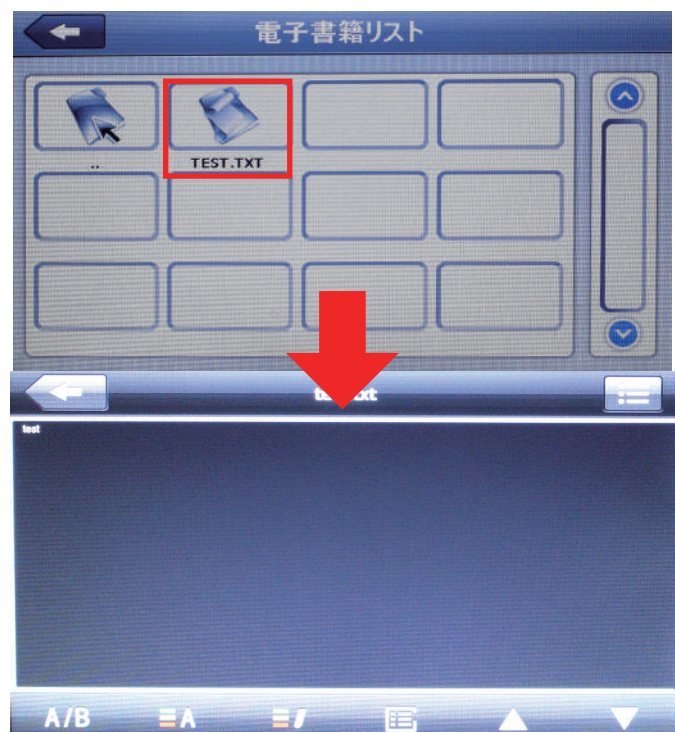
②電子書籍を選択

マルチメディアトップメニューから、「電子書籍」アイコンを選択してタッチしてください。



②読みたい電子書籍を選択

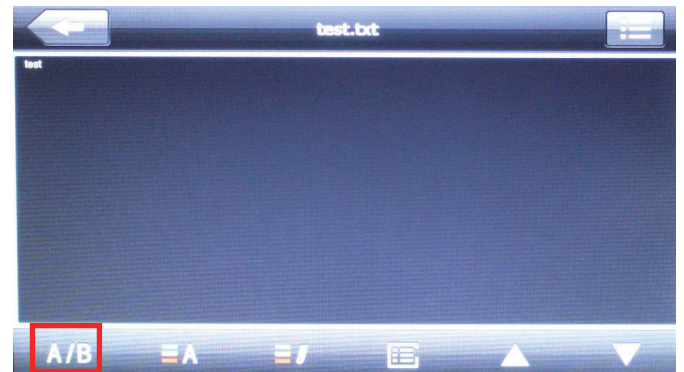
保存した電子書籍ファイルから読みたい電子書籍ファイルを選択して電子書籍を再生してください。



4 マルチメディア⑩

文字の太さ変更する

①フォント設定メニューを開く
電子書籍トップメニューから、「フォント設定メニュー」アイコンを選択してタッチしてください。



②文字の太さを変更する

フォント設定メニューの「Bold」アイコンをタッチして太字の ON/OFF を切り替えてください。

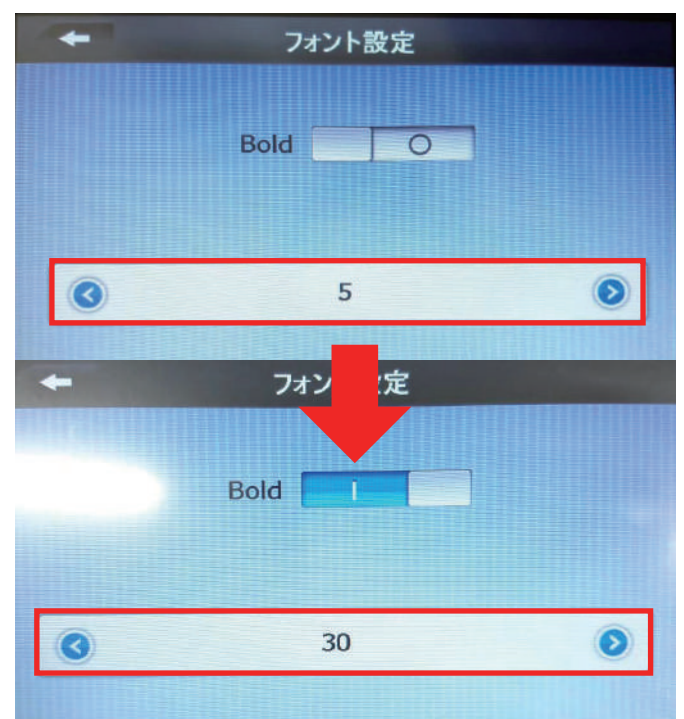


文字のサイズを変更する

文字のサイズを変更する

左右の矢印のアイコンをタッチして文字サイズを変更できます。



- ⏪ 文字を小さくします。最小：5pt
- ⏩ 文字を大きくします。最大：30pt

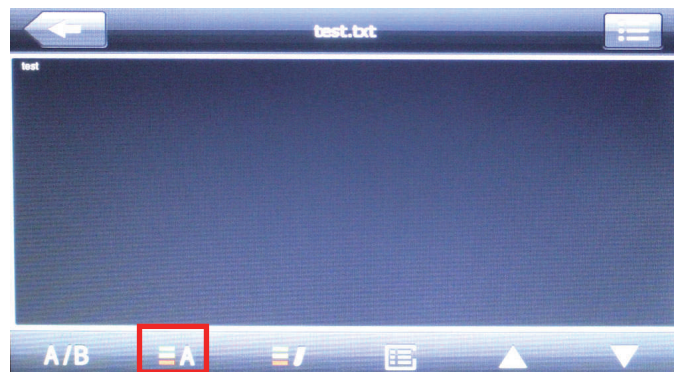



4 マルチメディア⑪

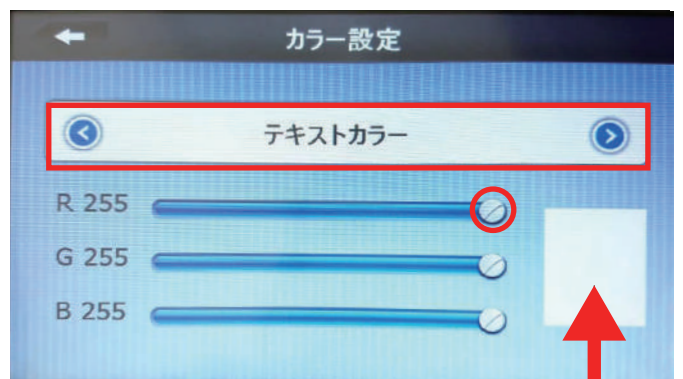
色を変更する

カラー設定メニューを開く
電子書籍トップメニューから、
「カラー設定メニュー」アイコンを選択
してタッチしてください。

上部メニュー変更：
左右の矢印をタッチ  
R：赤　　G：緑　　B：青




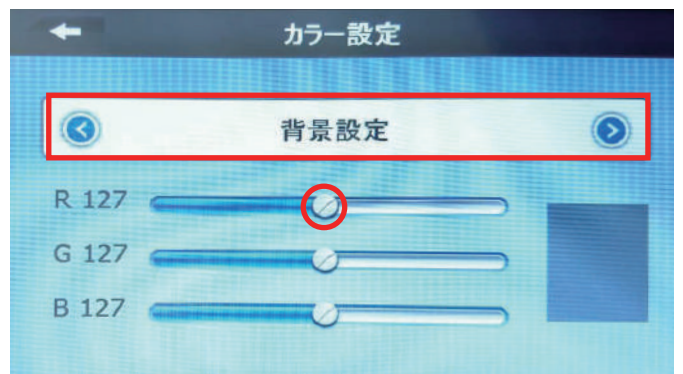
テキストカラーの色を変更する
上部メニューが「テキストカラー」で
あることを確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。




実際の色

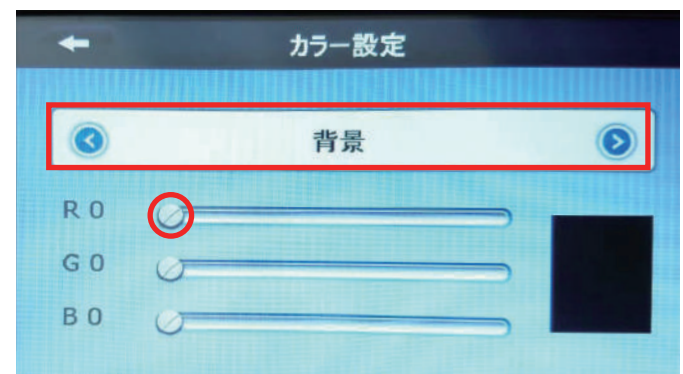
テキスト選択時の色を変更する
(ブックマーク登録をする際の長押し
時に表示される色)

上部メニューが「背景設定」で
あることを確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。



背景の色を変更する

上部メニューが「背景」であることを
確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。



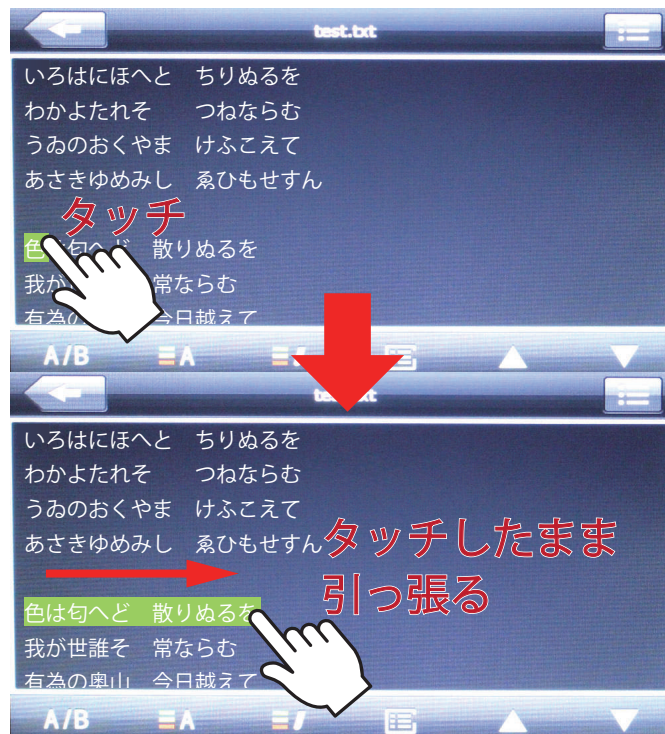
4 マルチメディア⑫

ブックマーク 1

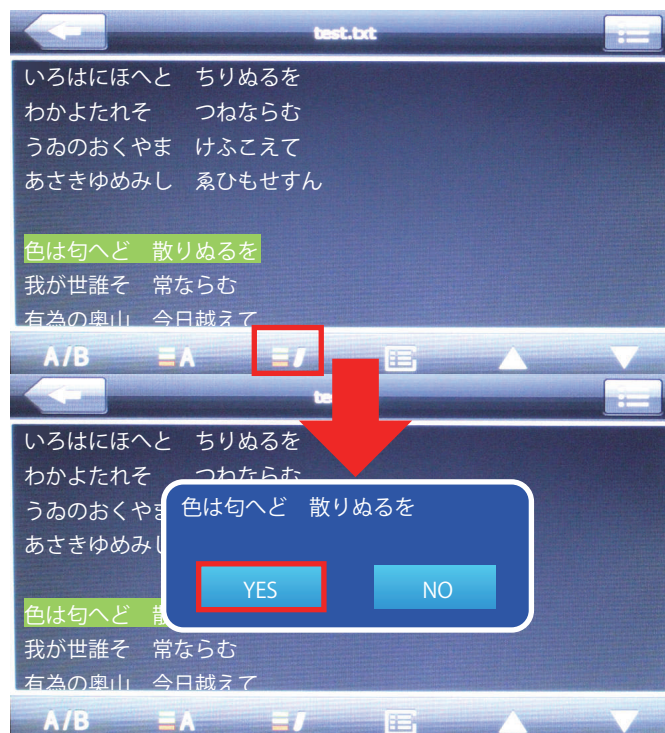
ブックマークを登録する

①現在表示されているテキストからブックマークをしたい箇所を長押しタッチして選択します。

※長押しをしたまま文字に沿って引っ張ると範囲を指定できます。



②テキスト選択状態のまま「ブックマーク登録アイコン」をタッチしてください。選択したテキストで間違っていない場合はそのまま「YES」アイコンをタッチするとブックマークの登録が完了します。

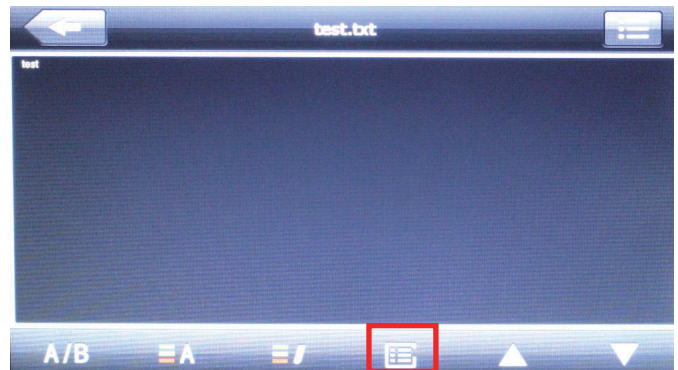


4 マルチメディア⑬


ブックマーク 2

ブックマークから再生する

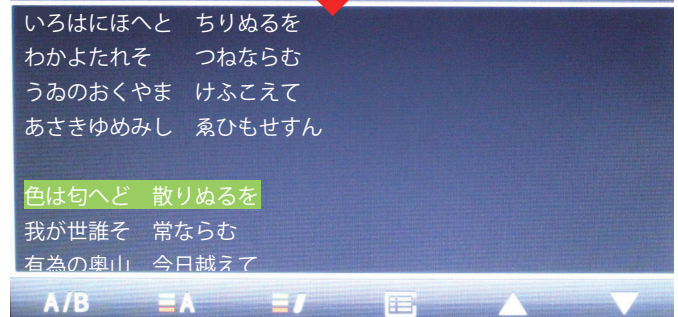
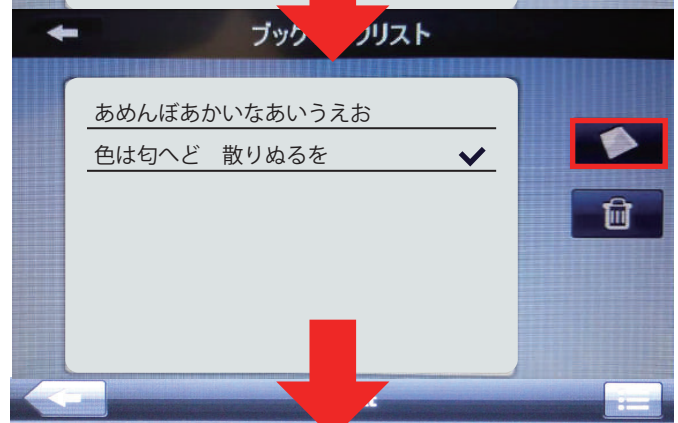
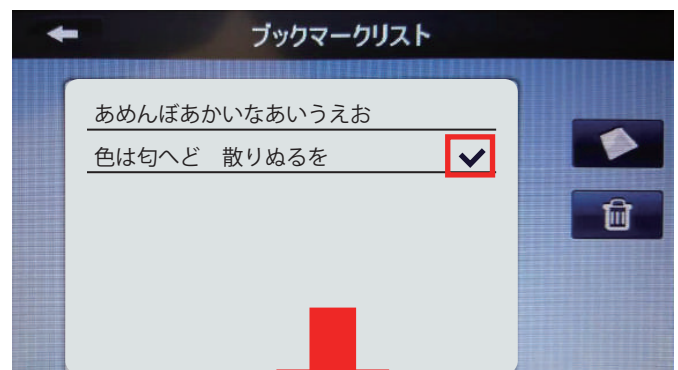
①電子書籍トップメニューから、「ブックマークリスト」アイコンを選択してタッチしてください。




②ブックマークリストから再生したいテキストをタッチして選択してください。

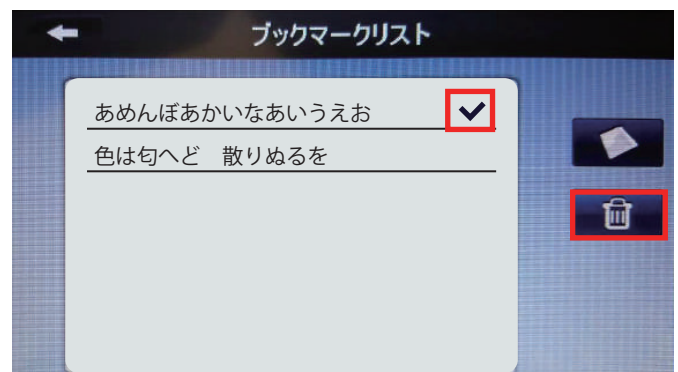
再生したいテキストの横にレ点がついていることを確認し画面右側の「ブック」アイコン  をタッチしてください。

選択したテキストが再生されます。



ブックマークを削除する

ブックマークリストから削除したいテキストの横にレ点がついていることを確認し画面右側の「削除」アイコン  をタッチしてください。



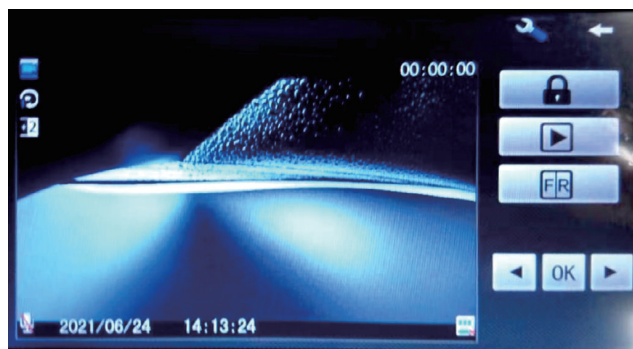
5 ドライブレコーダー①

メインメニュー画面から「ドラレコ」アイコンを選択してタッチすると、走行中の映像を録画するドライブレコーダー機能を使用することができます。



ドラレコ

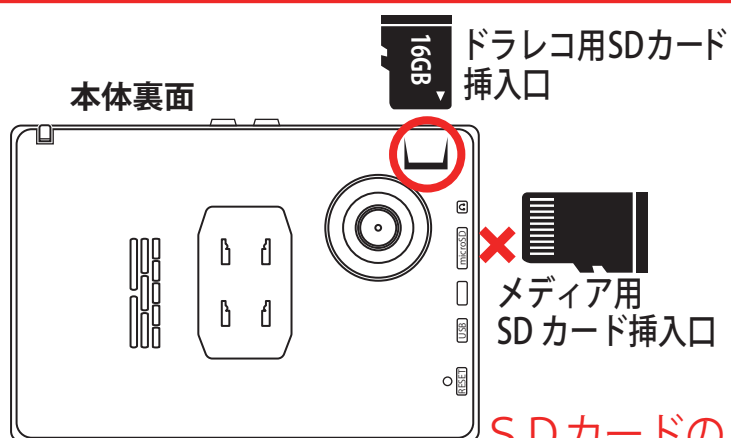
「ドラレコ」アイコンをタッチすると、ドライブレコーダー操作の画面へと切り替わります。



ドライブレコーダー用のSDカードは**本体裏面、上部の挿入口**に挿入してください。

SDカードの**金属面が液晶画面に向く**ように上からまっすぐ挿入する。

※本体側面のメディア用SDカード挿入口にSDカードを挿入してもドライブレコーダー映像を録画することはできません。



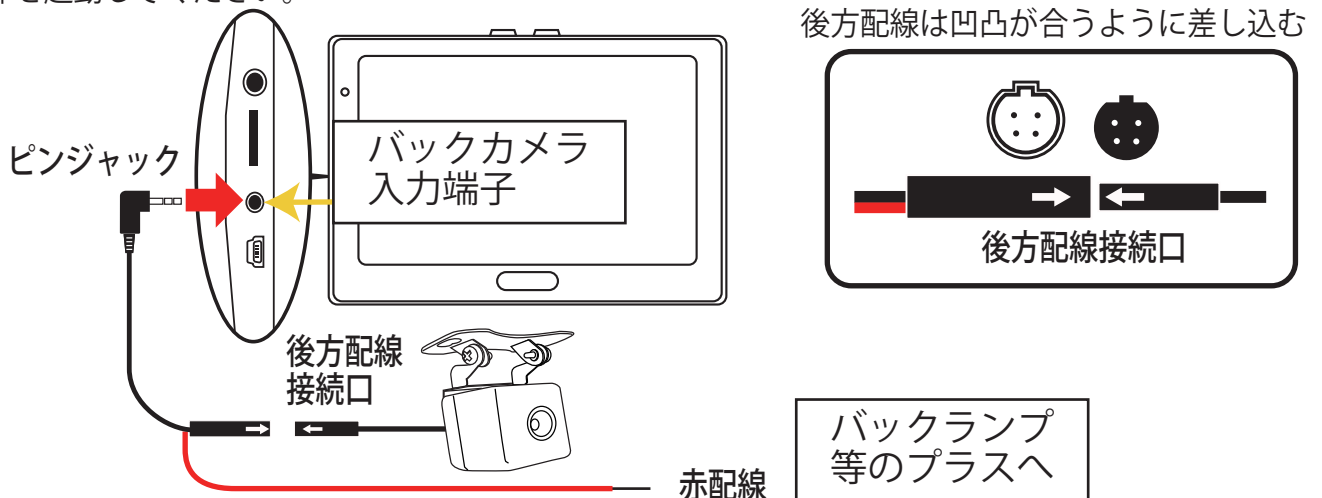
SDカードの向きに注意

バックカメラについて (型番：car-085 のみ) 使用上の注意

- ルームランプなどを点灯し車内を明るくした場合、映像や画像が見にくくなる場合があります。
- バックカメラは事故防止のため、後方確認用の鏡像タイプとなっております。バックカメラはルームミラーと同様に左右対称に映すカメラです。(録画データも左右反対に記録されます。)
- 電力不足の際は、正常にバックカメラへ切り替わりません。初期充電を行い、給電を確認してください。給電は付属のDCアダプターで増設・加工がない車のシガーソケットから直接行ってください。
- ワンセグ TV 使用中に補助カメラに切り替え、再度ワンセグ TV に復帰するときは、復帰するまでに 10 秒程時間がかかります。
- ナビ走行中に補助カメラに切り替え、再度ナビに復帰する場合は数十秒時間がかかる場合があります。その場合は画面を一度タッチするとナビに復帰します。
- 補助カメラとして使用の場合、本製品はあくまでドライバーの後方視界を補助するための製品です。すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。
- 本製品は、広角レンズを使用しています。近くのところと遠くのところでは距離感が違います。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。
- 取付け部の両面粘着テープは、正しく貼付けてください。接着が弱いと走行中にはがれて事故の原因になります。
- 走行前にカメラの取付けの接着のはがれ/取付ネジのゆるみがないか点検をしてください。走行中にカメラがはがれたり取れたりすると事故の原因になります。
- バックカメラを貼付ける際は、後方視界を十分に確保しバックカメラや配線が安全運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 取付け固定する前に仮固定仮配線して本機が正常に動作することを確認してから取付固定作業を行ってください。
- 取り付けるときは事前にバックカメラを仮固定して取付位置を決定してから両面粘着テープで固定してください。貼付け時の上下に注意してください。
- リアウィンドウに付着した雨滴で後方が見にくくなる場合があります。リアワイパーがある場合はふき取り範囲にカメラを設置してください。
- 冬場にリアウィンドウが曇る場合があります。熱線で曇りがとれる範囲に設置してください。
※お車により熱線のカメラ映像への映り込みが目立つ場合があります。
- スモークのかかったリアウィンドウの場合見にくくなる場合があります。スモークの少ないところにカメラを設置してください。
- ご使用になるまえに、固定ネジ、粘着テープ、配線等が確実に取付いていることを確認してからご使用ください。

バックカメラ取付

本体の電源が切れている状態で側面のバックカメラ入力端子に付属のバックカメラのピンジャックを差し込んでから本体を起動してください。



バックカメラを取り付ける

※配線作業中は必ず車のエンジンを切って、安全面に十分注意して行ってください。

付属のバックカメラを本体と接続することで後方の映像を確認・録画することができます。付属のバックカメラを固定用ネジもしくは両面テープ付スポンジを使い取り付けます。バックカメラを固定した後にバックカメラケーブルを市販のケーブルフックなどで配線処理していきます。

※バックカメラの電源はレコーダー本体から常時供給されます。

設置例： ※画像はイメージです。



①車内設置方法

(1) シガー電源ケーブルを接続する
車内配線を行いながら後部ガラスの上面にカメラを設置し上下の角度をモニターの確認をしながら合わせます。

②車外設置方法

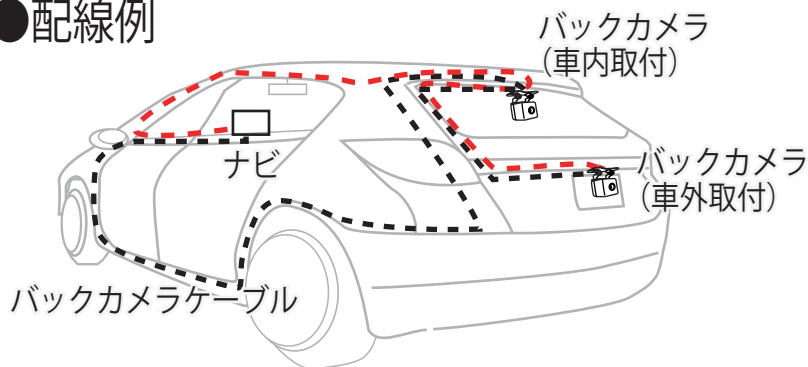
後部ナンバープレート上部に設置を行います。
取り付けに関して、知識や技術に不安がある方は整備工場等へご依頼下さい。

※バックカメラは防水仕様ですが、完全防水ではありません。台風や大雨、水没には対応しておりません。設置はご使用の車の状態にあわせて行ってください。



※画像はイメージです。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

① ----- 下から引き回す

② - . - . - . 上から引き回す

バックドアの開閉を妨げないようにコードに余裕を持たせて取り付けてください。無理にひっぱる、ドアに挟まると破損の原因となります。

・後方配線接続口の赤配線をバックランプ等プラス配線に接続した場合は、ギアをバックへ入れた際、自動で後方のカメラに切り替わる、補助カメラとしてご使用いただけます。

※車両配線に関する専門の知識がない場合は、安全のため専門の業者などに依頼してください。

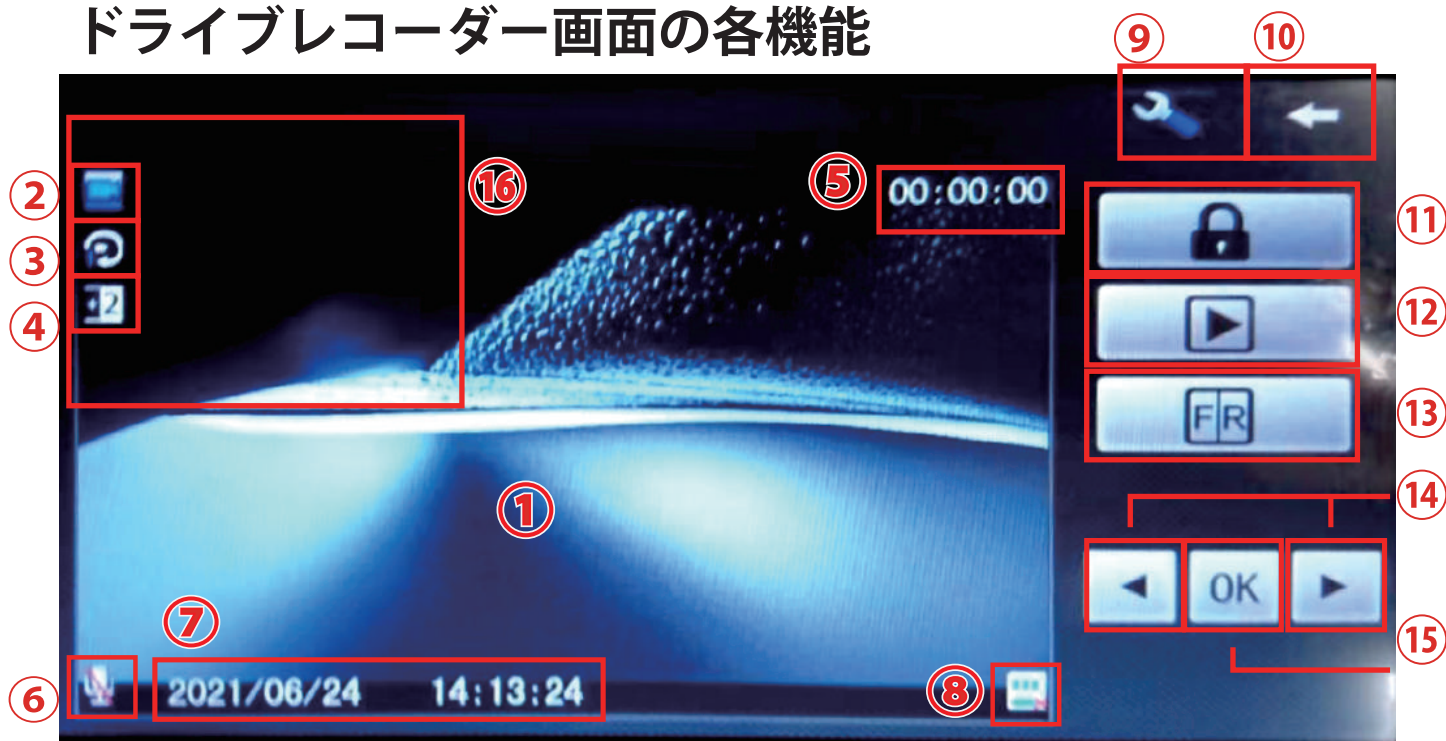
(赤配線を接続して、補助カメラとしてバックカメラに切り替えると、画面にガイドが映ります) また切り替わる前にドラレコ画面が一瞬映りますが、不具合ではありません。

(補助カメラとして使用しない場合、赤配線を接続せずに、配線の先を絶縁テープなどで絶縁してください。)

- ・赤配線を接続しなくてもドラレコとしてのバックカメラ録画は可能です。(ガイドはできません)
- ・仮配線を終えたあとは、エンジン始動後に画面映像を見ながらカメラ角度を調節してください。
- ・ガイドラインの表示は角度によっては、正しく表示されませんので必ず直視にて後方確認をおこなってください。運転中の事故などの責任刃一切負いかねますので、お客様自身で安全運転を心がけてください。

5 ドライブレコーダー②

ドライブレコーダー画面の各機能



① ドラレコ映像	ドライブレコーダーで撮影された映像です。 ダブルタップで全画面⇄操作画面の切り替え可能
② モード表示	録画モード 再生モード
③ 自動上書き表示	1 ファイル 1 分で映像を録画します。 SD カードの容量がいっぱいになったら通常録画の古いデータから上書きしていきます。
④ 明るさ表示	録画映像の明るさの表示です。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 暗 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 明 </div>
⑤ 録画時間	● 00:00:01 赤丸点滅あり / 録画中 01:23:35 赤丸点滅なし / 記録時間残容量(約)
⑥ 録音表示	録画あり / 録音あり 録画あり / 録音なし
⑦ 日付 / 時刻	現在の日付 / 時刻
⑧ SD カード表示	SD カード認識あり SD カード認識なし
⑨ 設定	ドライブレコーダーの設定を変更できます。
⑩ 戻る	メインメニュー画面へ戻ります。
⑪ 上書き禁止ロックボタン	現在表示されている映像に上書き禁止のロックをかけます。(画面左上に マーク表示)
⑫ モードボタン	録画モード / 録画再生モードを切り替えます。
⑬ 前後切り替えボタン	前方とバックカメラの映像を切り替えます。
⑭ 選択ボタン	明るさの強さや録画再生時の映像を選択します。
⑮ OK ボタン	手動で録画 ON/OFF の切り替えができます。
⑯ バックカメラ映像	バックカメラ映像が表示されます。

※⑬⑯はバックカメラ接続時のみ機能します。バックカメラ付属型番：car-085

5 ドライブレコーダー③

※SDカードを挿入している場合、ドライブレコーダー機能を起動してなくても本体電源がONになると自動で録画を開始します。
※録画中にほかの操作（ナビやメディアを使用）を行っても録画は継続して行われます。

基本操作

モードを切り替える

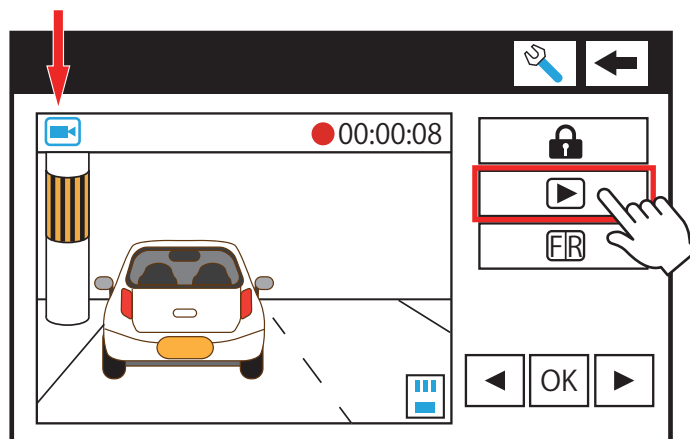
モードボタンをタッチすると画面左上のモード表示が切り替わります。

録画モード

現在映っている映像を録画します。

再生モード

すでに撮影した映像を再生します。



前方カメラ / バックカメラ映像を切り替える

前後切り替えボタンをタッチすると中央のドライブレコーダー映像を前方カメラ映像 / バックカメラ映像に切り替えます。

【切替順】

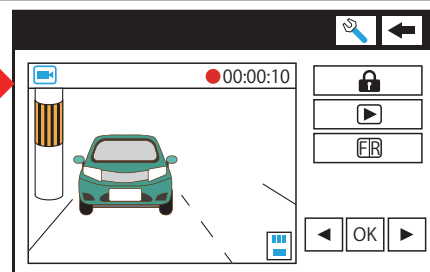
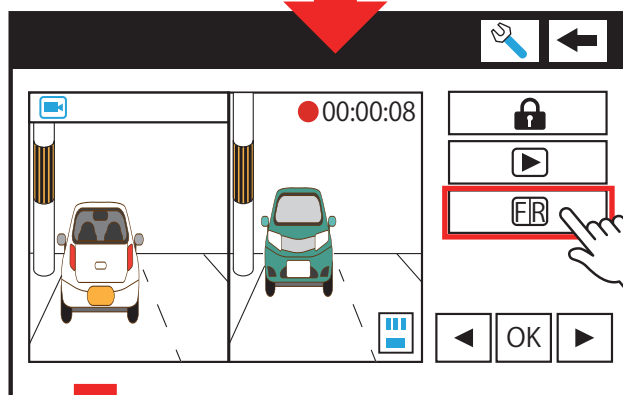
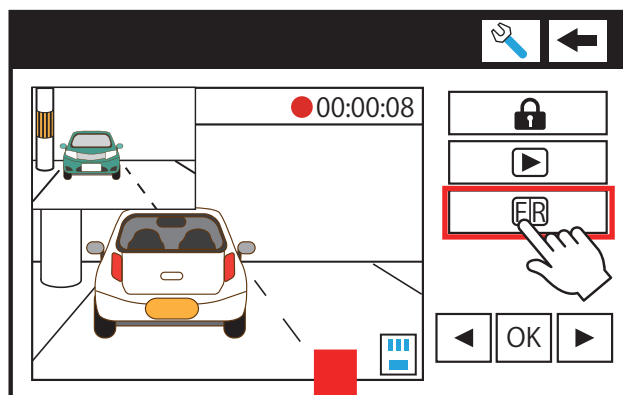
バックカメラ小画面(デフォルト)
→2分割画面→前方のみ→後方のみ
→デフォルトの順に切り替わります。

※バックカメラ切り替え機能はバックカメラ付属のタイプのみ使用可能です。

※給電が不十分な場合はバックカメラが表示されない、あるいはバックカメラに切り替わりません。

バックカメラが映らない時は下記項目を確認してください。

- ・付属のDCアダプターを使用する。
- ・給電は増設や加工をせず車のシガーソケット差込口から直接行う。
- ・初期充電を行う。
- ・バックカメラ配線の差し直しを行う。



5 ドライブレコーダー④

録画モード操作

※録画容量が残っているSDカードを挿入している場合、エンジンを起動すると連動して本体の電源がオンになり自動で録画を開始します。

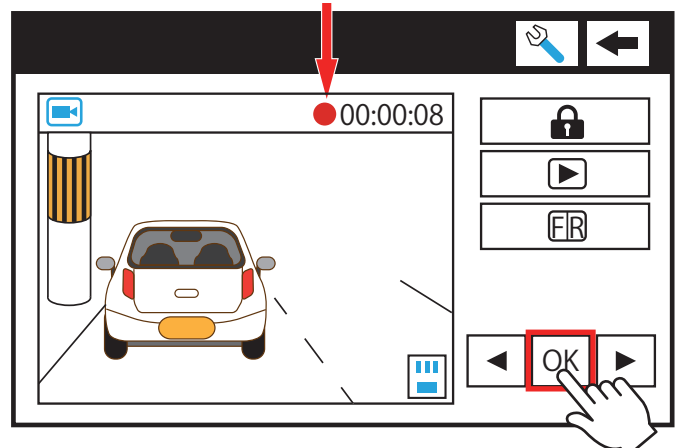
手動で録画の ON/OFF を切り替える

録画を停止する

OK ボタンをタッチすると画面右上の赤丸点滅が消灯して録画を停止します。

録画を開始する

OK ボタンをタッチすると画面右上の赤丸点滅が点灯して録画を開始します。

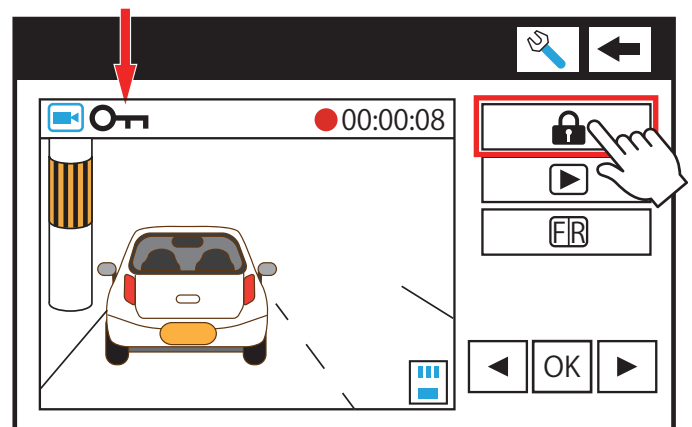


表示されている 1 分間の映像に手動で上書き禁止ロックをかける

上書き禁止ロックボタンをタッチするとモード表示の右側に 🔒 鍵マークが付きます。

鍵マークがついた 1 分間の映像ファイルはロックがかかったファイルとなり長時間録画をしても自動上書きされず残り続けます。

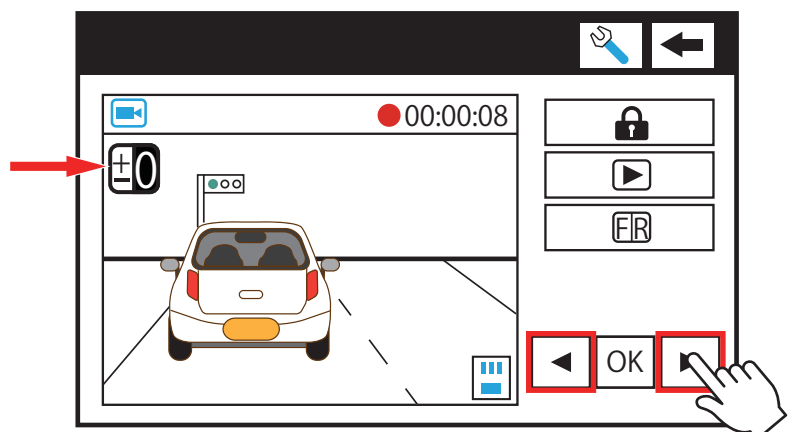
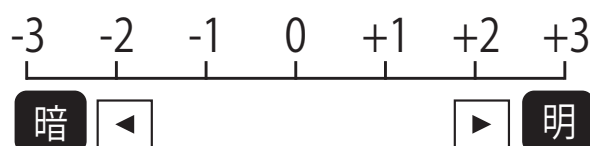
ロックを解除する場合は上書き禁止ロックボタンをもう一度タッチします。



ロックがかかっているファイルでも、SD カードをフォーマットした場合はデータが消えてしまいます。

録画映像の明るさを調節する

◀ ▶ 選択ボタンをタッチすると画面左上の明るさ表示が切り替わり録画映像の明暗を調節できます。



5 ドライブレコーダー⑤

設定は録画モード時のみ操作可能です。

ドライブレコーダー設定 1

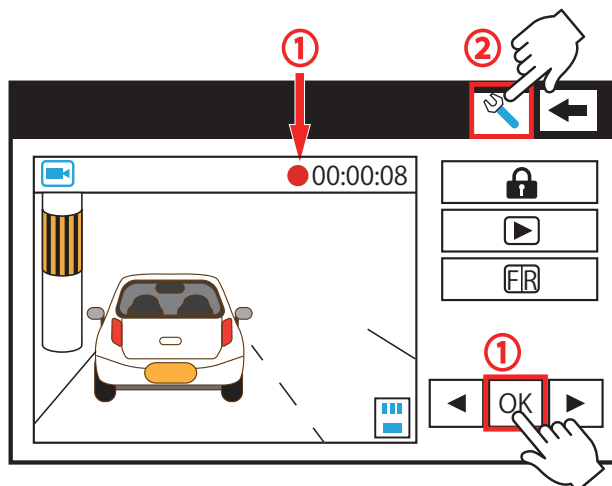
ドライブレコーダーの設定を変える

OK ボタンをタッチして、録画をとめてください。

● 右上の赤丸点滅が消灯します。

録画停止後、画面右上の  設定ボタンをタッチしてドラレコ設定画面を立ち上げます。

※録画を止めなくても設定を操作できますがエラーの原因となる場合があるため録画を止めてから操作を行ってください。

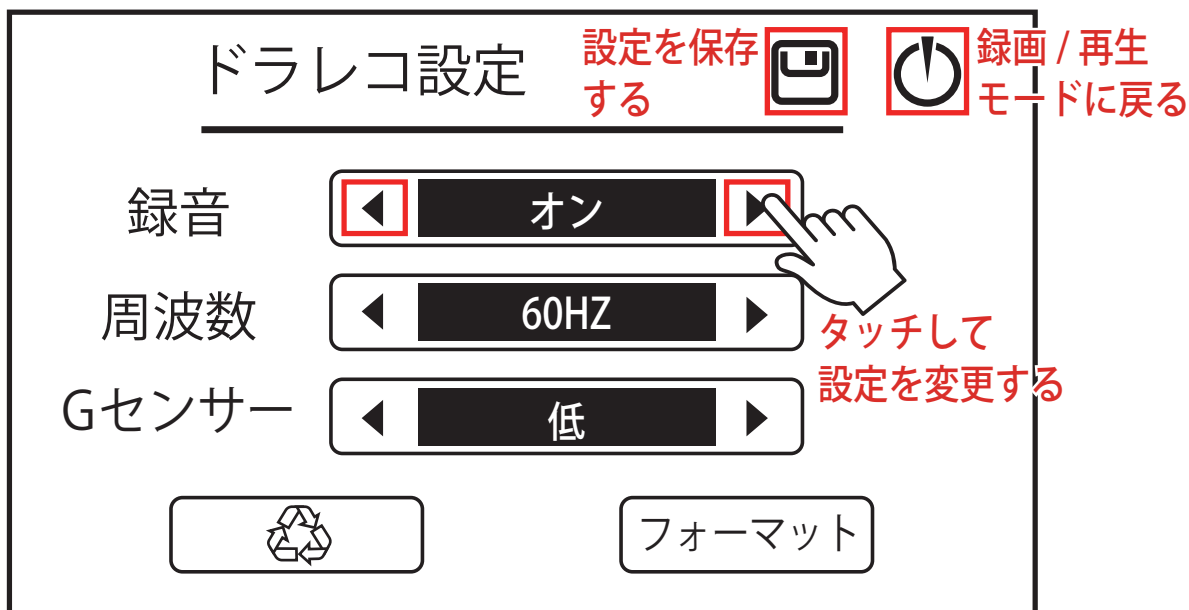



ドライブレコーダーの設定を変える

左右の ◀▶ をタッチすると各種設定を変更できます。

変更した設定を保存する場合は  アイコンをタッチしてください。

録画/再生モードに戻る場合は右上の  アイコンをタッチしてください。



録音 (本体での再生不可)	オン/オフ	録画の際に映像のみを記録する(オフ)か、周囲の音も同時に記録する(オン)か選択します。 ※録音はパソコンでのみ再生可能。また音量はあまり大きくありません。
周波数	50HZ/60HZ	信号を鮮明に映すよう、周波数をあわせませす。 ご使用地域の設定に合わせてご使用ください。
Gセンサー 衝撃感度	オフ/ 低/中/高	録画中に衝撃を感知した場合、録画中の動画に自動でロックをかけて、上書きできないようにします。 ※上書きできないファイルがたまると、自動録画ができなくなります。
初期化 	初期化ボタンをタッチすると設定を出荷時の状態に戻します。	
フォーマット	フォーマットボタンをタッチすると、SDカード内の全データを消去します。※大事なデータが残っている場合はパソコンなどにデータを移してからフォーマットをしてください。	

5 ドライブレコーダー⑥

ドライブレコーダー設定 2

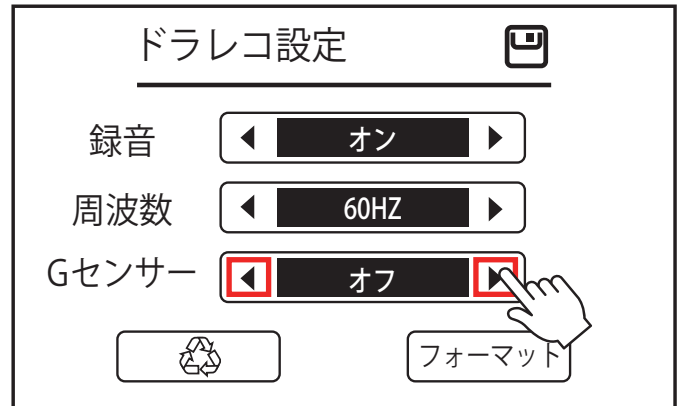
Gセンサーを設定する

常時録画中に衝撃や振動を感知すると録画中のファイルに自動的にロックをかけて、上書きされないファイルにする機能です。

左右の◀▶ボタンで衝撃感知センサーの感度を選択します。

Gセンサー機能：OFF/低/中/高

※お車や環境により、感度を調節して下さい。



ロックのかかったファイルが溜るとSDカードが容量不足になり、自動上書き録画ができなくなります。「フォーマットしてください」や「容量不足」と頻繁に表示される場合はGセンサーの感度を「低」や「OFF」に設定して、SDカードをフォーマットしてください。

SDカードをフォーマットする

SDカードや本体の破損防止のためフォーマットは必ず録画を止めてから行ってください。

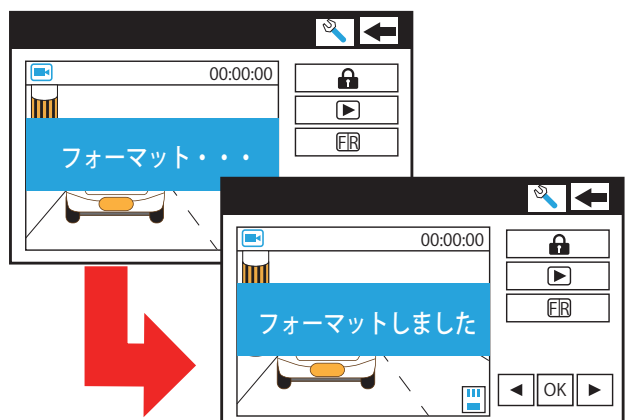
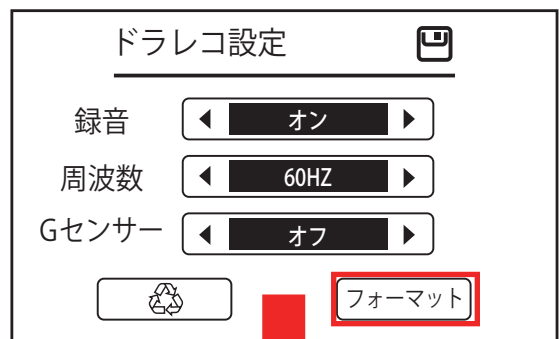
ドラレコ設定画面右下のフォーマットボタンをタッチすると「フォーマットしますか？」とポップアップが表示されます。

「はい」を選択すると録画面に戻り、フォーマットを開始します。

フォーマット処理が成功した場合「フォーマットしました」と表示されます。

※「フォーマット失敗」と表示される場合は、以下項目を確認してください。

- ・ご使用のSDカードをパソコンでフォーマットを行う。
- ・SDカードを別のものに交換する。



- ・フォーマットをすることによってSDカードに溜ったいらぬデータを消去することができます。

【フォーマットの目安】

32GBのSDカードの場合：2～3週間に1回

- ・マイクロSDカードは消耗品です。定期的にフォーマットや録画再生を行い、録画漏れやファイルの破損がないかを確認してください。

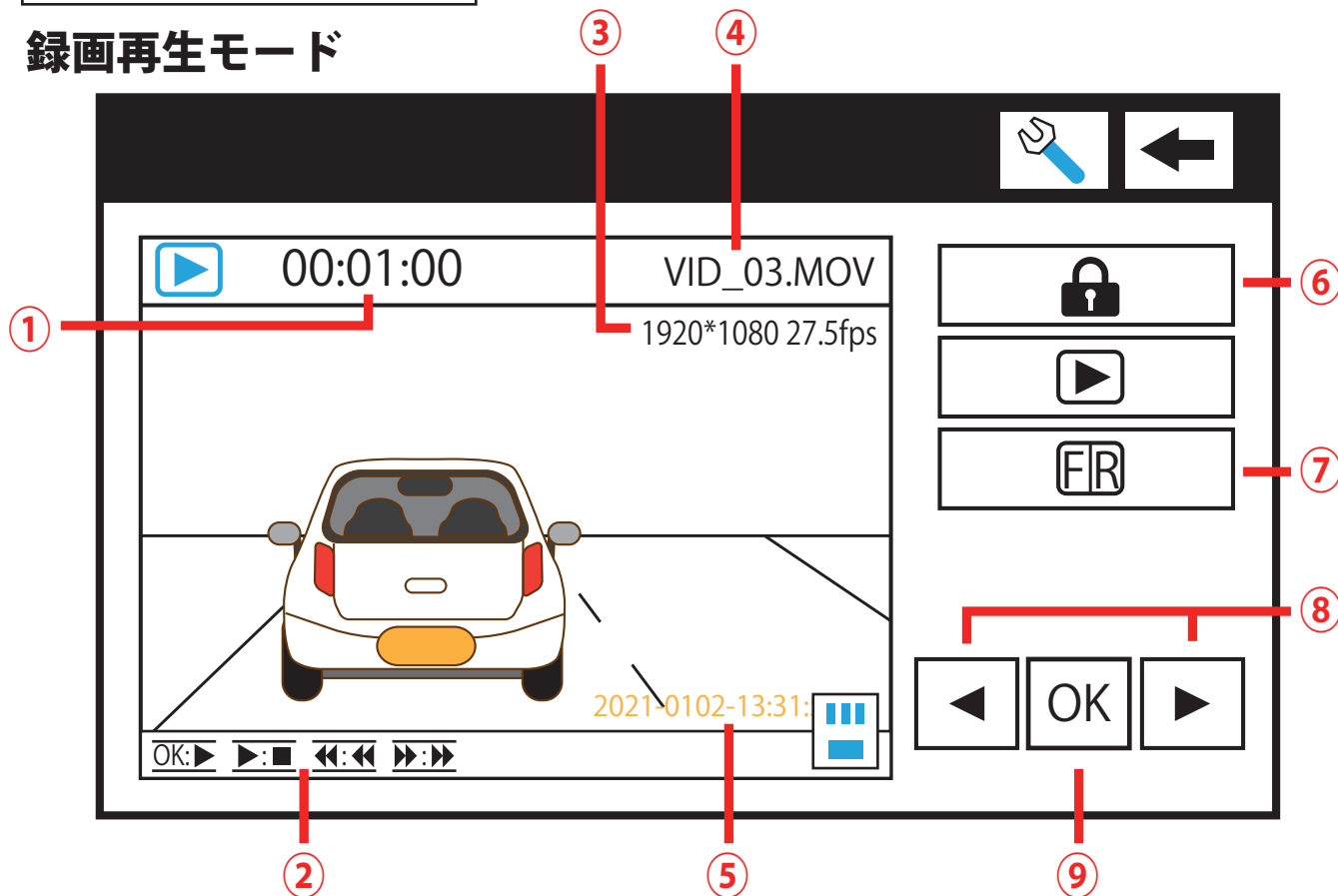
【録画もれ・ファイル破損が出る場合】
SDカードの交換を行ってください。

5 ドライブレコーダー⑦

※録画中に再生モードへ切り替えると、録画は途中でとまります。

再生モード操作 1

録画再生モード



①動画時間	連続するドラレコ映像を1分ずつに区切って保存します。
②再生モード	再生 / 停止 / 早送り / 巻き戻し など
③解像度	録画映像の画質 (画素数) 前方：1920*1080 27.5fps 後方：1280*720 25fps
④録画ファイル名	数字が大きいほど、新しい録画ファイルになります。
⑤録画した日付け	録画時の日時※1
⑥上書き禁止ロック	再生中の動画に手動で上書き禁止のロックをかけます。
⑦前方後方切り替え	前方の録画とバックカメラの録画を切り替えます。※2
⑧選択ボタン	録画を遡ったり、早送り / 巻き戻しの操作をします。
⑨OK ボタン	録画再生 / 停止の操作をします。

※1：ドライブレコーダーの日時設定は基本的に GPS で自動補正されますが反映されるまでに時間がかかる場合があります。

※2：バックカメラ搭載の場合のみ使用可能。

5 ドライブレコーダー⑧

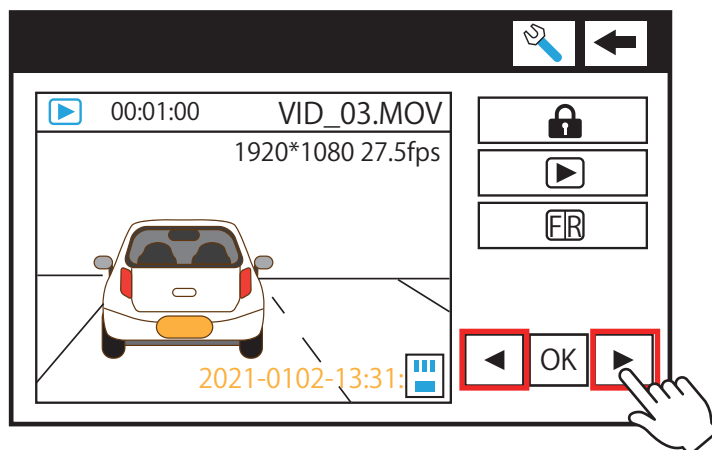
再生モード操作 2

再生したい動画を選択する

再生モードでは1番新しい(直近で撮影した)前方録画の冒頭静止画がデフォルトで表示されます。

過去の録画を選択する場合は選択ボタンをタッチします。

- ◀ 1つ前(古い)の録画を表示
- ▶ 1つ後(新しい)の録画を表示

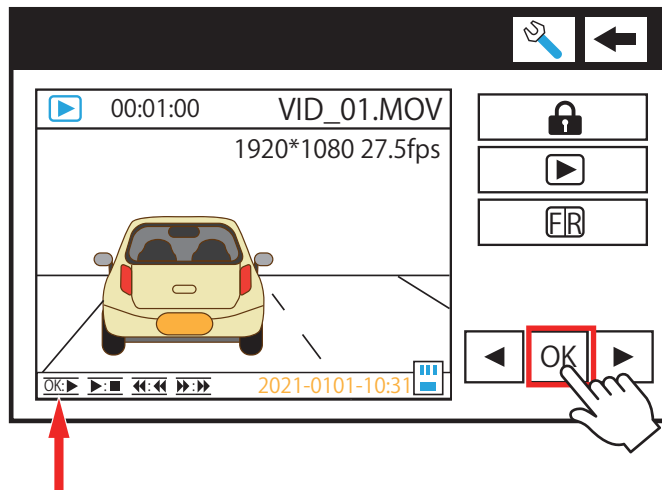


選択した動画を再生する

OK ボタンをタッチ
録画を再生する / 録画を停止する

OK: ▶ 録画停止中

OK: || 録画再生中

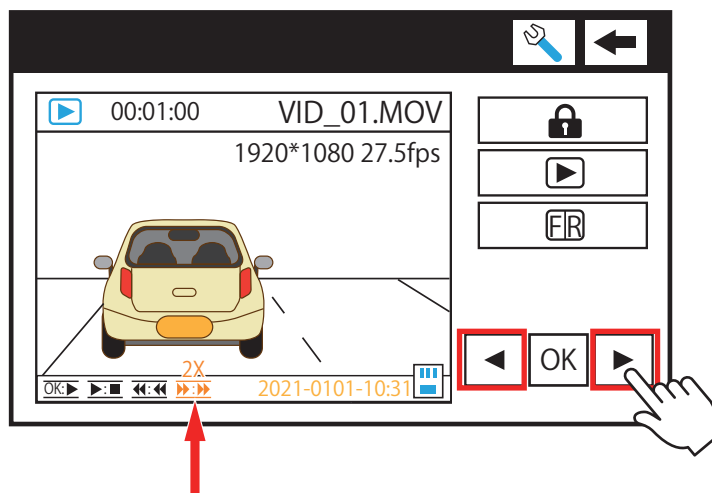


再生中に ◀ ボタンをタッチ
巻き戻し
2倍速(2X)/4倍速(4X)/8倍速(8X)

◀:◀ 通常表示 ^{2X} ◀:◀ 倍速表示

再生中に ▶ ボタンをタッチ
早送り
2倍速(2X)/4倍速(4X)/8倍速(8X)

▶:▶ 通常表示 ^{2X} ▶:▶ 倍速表示



6 設定①

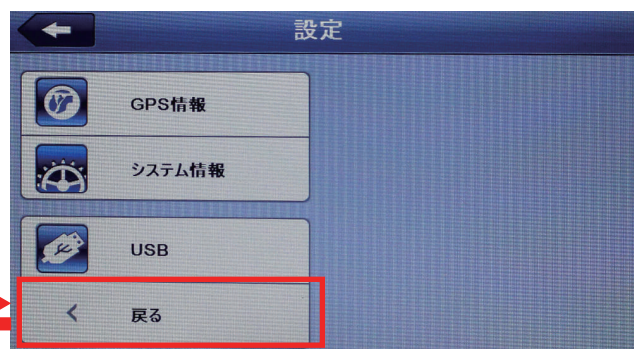
メインメニュー画面から「設定」アイコンを選択してタッチすると本製品の詳細設定を変更することができます。



設定トップメニュー A



設定トップメニュー B



ボリューム	操作音 / 音声再生時の音量の設定を変更できます。
バックライト	画面の明るさ/バックライト消灯設定を変更できます。
画面補正	画面タッチの感度・位置の設定を変更できます。
言語	言語の設定を変更できます。
ナビパス設定	起動時のナビ立上げ設定を変更できます。
日付・時間	日付・時間・使用地域の設定を変更できます。
初期化	設定を工場出荷時の状態に戻します。
GPS 情報	GPS の受信状況を確認できます。
システム情報	本製品のシステムリソースの確認できます。
USB	内蔵メモリへのデータ転送や充電ができます。

6 設定②

設定トップメニューA

ボリューム設定

設定トップメニュー左上の「ボリューム」アイコンをタッチしてボリュームの詳細メニューを開いてください。

ボリューム

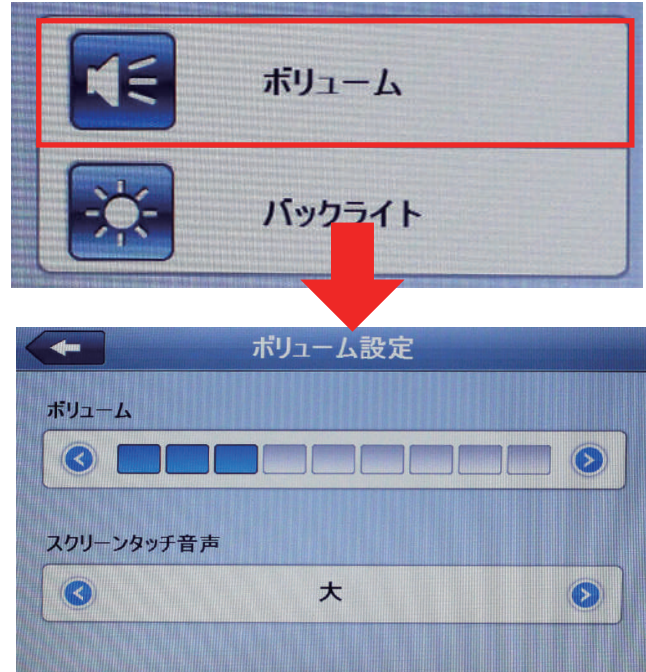
音声案内やメディアの音量を変更できます。左右の矢印のアイコンをタッチすると音量を変更できます。

- ◀ 音量を下げます。
- ▶ 音量を上げます。

スクリーンタッチ音声

画面操作時のタッチ音の大きさを変更できます。

大 ⇄ 小 ⇄ OFF



バックライト設定 1

設定トップメニュー左上の「バックライト」アイコンをタッチしてボリュームの詳細メニューを開いてください。

明るさ設定

画面の明るさを変更できます。左右の矢印のアイコンをタッチして明るさを変更できます。

- ◀ バックライトの光量を下げます。
- ▶ バックライトの光量を上げます。





6 設定③

設定トップメニューA

バックライト設定 2

自動OFF設定

バックライト消灯時間の設定を変更できます。

左右の矢印のアイコン   をタッチすると変更できます。

操作がないときにバックライトが消灯することで消費電力を節約することができます。



常に ON	バックライト消灯なし
10 秒後にOFF	10 秒間画面操作がないとバックライトが消灯します。
30 秒後にOFF	30 秒間画面操作がないとバックライトが消灯します。
1 分後にOFF	1 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。
2 分後にOFF	2 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。
3 分後にOFF	3 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。

6 設定④

設定トップメニューA

画面補正

設定トップメニュー右上の「画面補正」アイコンをタッチしてください。

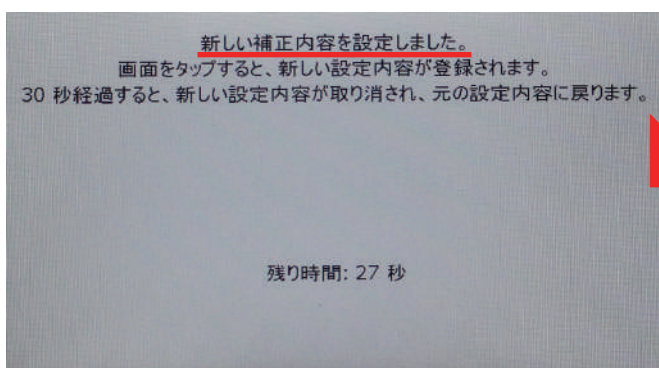
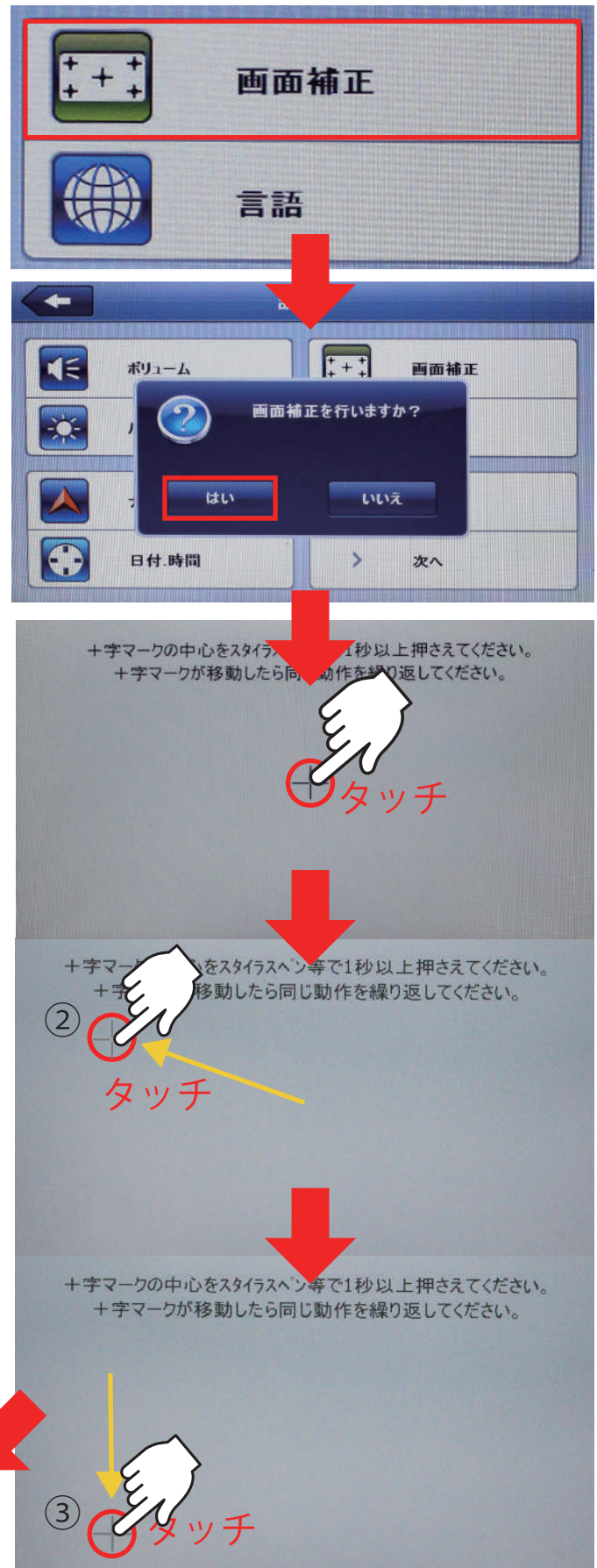
「画面補正を行いますか？」と表示されたら「はい」をタッチしてください。

画面中央に表示される十字マークの中央をタッチしてください。タッチするたびに十字マークが画面四隅に移動するので(中央→左上→左下→右下→右上)追いかけてながら十字マーク中央をタッチしてください。

※調整が完了しない場合、十字マークが画面中央に戻ります。再度中央から十字マークを追いかけてください。

※本製品にタッチペンの付属はありません。

調整が完了すると「新しい補正内容を設定しました」と表示されるので30秒以内に画面を一度タッチして補正内容を保存してください。(30秒以内に操作がない場合は設定がキャンセルされます)



6 設定⑤

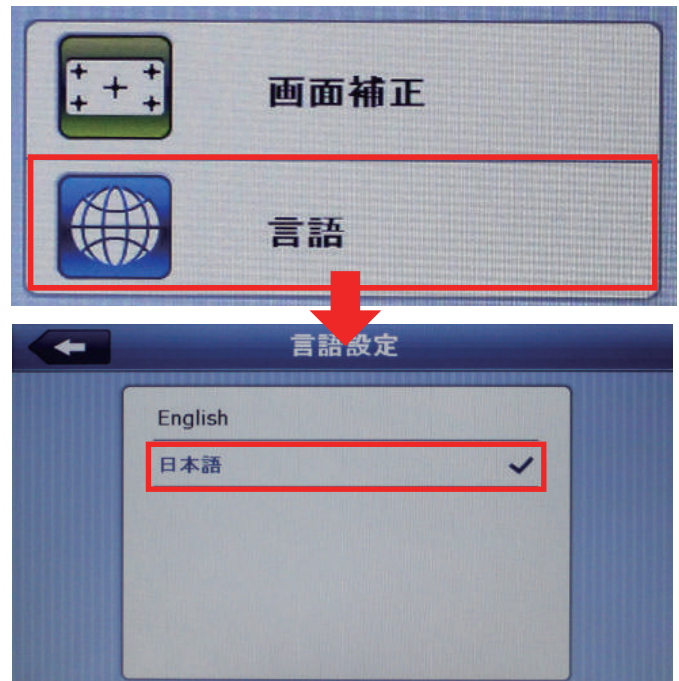
設定トップメニューA

言語

表示される言語を変更できます。設定トップメニュー右上の「言語」アイコンをタッチして言語詳細メニューを開いてください。

表示したい言語をタッチして右側にレ点がいっていることを確認してください。

※ナビ、TVの表示変更はそれぞれ「ナビ設定」「TV設定」で変更してください。



ナビパス設定

ナビゲーションパス

ナビゲーションを動作させるためのシステムを設定する機能です。触らないでください。

※初期化などをした後、万一ナビが起動しない場合は別紙記載のナビパス設定を行ってください。

設定トップメニュー左下の「ナビパス設定」アイコンをタッチしてナビパス設定の詳細メニューを開いてください。

ナビゲーションソフト自動起動

本体電源起動時にメインメニューを経由せず、自動でナビゲーション画面へ進む機能です。右側アイコンをタッチしてON/OFFを切り替えてください。

ON OFF



6 設定⑥

設定トップメニューA

日付・時間

※到着後 GPS を感知したら自動で設定されます。ご自身で設定する必要はありません。

本製品で表示される日付と時間の設定ができます。設定トップメニュー左下の「日付・時間」アイコンをタッチして日付・時間メニューを開いてください。

年 / 月 / 日 / 時 / 分

のそれぞれの項目でタッチしたまま上下にフリックすると任意の日時に変更することができます。世界各国の標準時間に合わせる場合は画面下部の矢印アイコン (◀ ▶) で設定を行ってください。設定が完了したら、左上「戻る」アイコンをタッチしてください。

※ただし、GPS 受信環境の場合、GPS 情報に則り自動で時間が補正されます。(反映に少し時間がかかる場合があります。)

初期化

本体の設定を工場出荷時の状態に戻します。

設定トップメニュー右下の「初期化」アイコンをタッチして初期化メニューを開いてください。

確認画面が開きます。

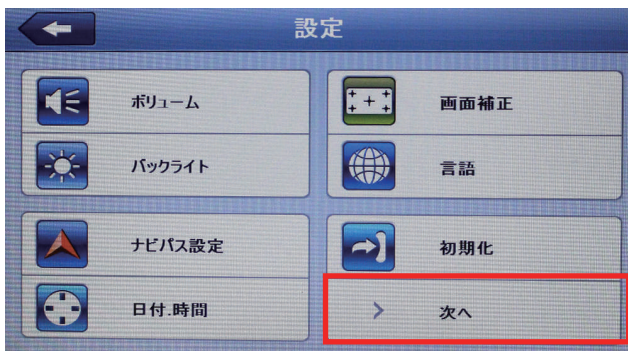
初期化する場合は「はい」を選択してください。



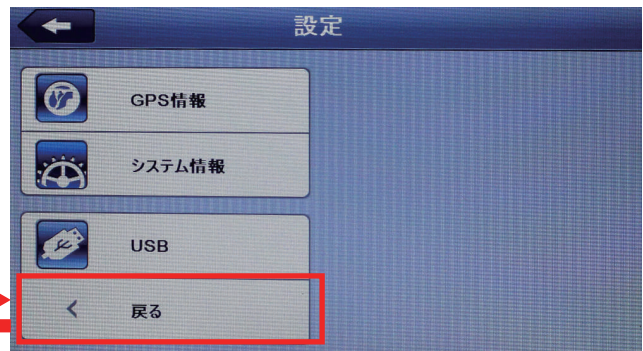
5 設定⑦

設定トップメニューB

設定トップメニューA



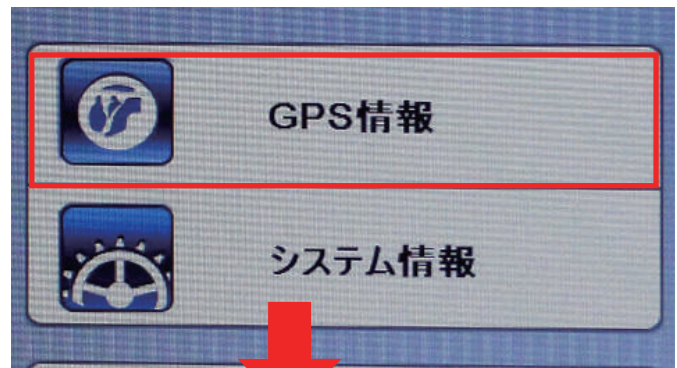
設定トップメニューB



設定トップメニューの「次へ」アイコンをタッチして、設定トップメニューBへ画面を切り替えてください。

GPS 情報

GPS の受信状況を確認できます。設定トップメニュー左上の「GPS 情報」アイコンをタッチしてGPS 情報メニューを開いてください。



ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。



注意

- ①GPS は、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
- ②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
- ③初めて測位するときや前回測位した場所から 300km 以上離れている場合は、コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
(一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります)

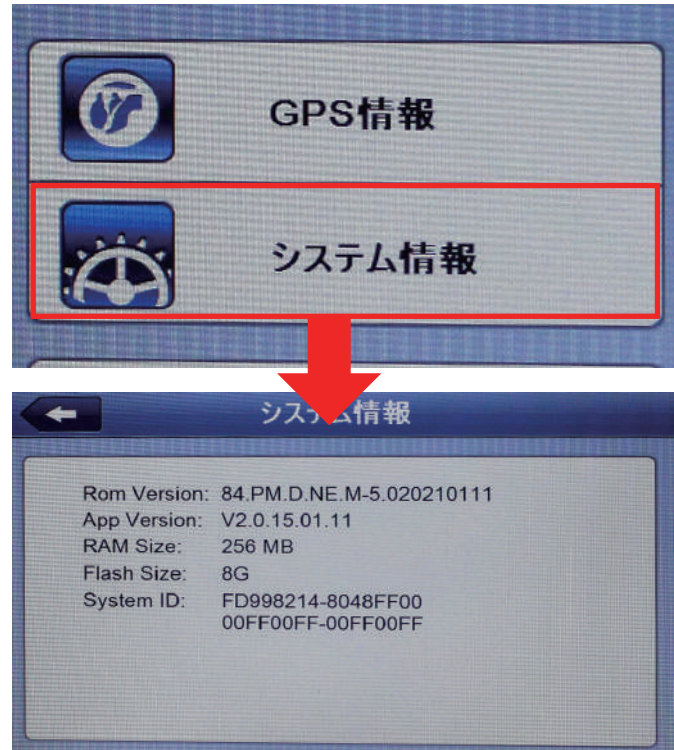
6 設定⑧

設定トップメニューB

システム情報

本製品のシステムリソースの確認ができます。

設定トップメニュー左上の「システム情報」アイコンをタッチしてシステム情報メニューを開いてください。



USB

本製品をパソコンのUSBに差し込んだ時、内蔵メモリにデータを転送するかUSB充電をするかを選択できる機能です。文字の右側にレ点が入っている方が選択されています。選択を変える場合は希望する方をタッチしてください。

MS ACTIVESYNC

充電機能（操作可能）

MASS STORAGE

充電 + データ取込み（操作不可）



※microSD カードではなく、本製品の内蔵メモリに記録をします。本体の処理を圧迫するためナビの操作などに影響が出る場合があります。できるだけメディア情報は別売の microSD カードに保存することをおすすめします。

ハードウェア仕様

項目	仕様	
液晶表示器	型名	car-085 バックカメラ付き /car-086 前方のみ
	種類(TFTなど)	液晶:TFT バックライト:LED
	サイズ(インチ)	7インチ
	解像度(横×縦)	800×480 pixel
	視野角(上下左右)	(上 30° 下 35° 左 30° 右 30°)
	輝度	200 cd/ m ²
タッチパネル	感圧式	
CPU	MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz 32bit	
内蔵メモリ	256MB(DDR SDRAM) Flash8 GB	
OS	Microsoft WindowsCE 6.0	
音声出力	1.5 W × 1	
入出力端子	イヤホン端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック
	microSDカードスロット	2スロット(メディア/ドラレコ) 対応8GB以上、32GB以下/スピード class10 以上
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
TV受信	TV受信	ワンセグ(470-770 MHz)
	ワンセグ録画機能	録画可能(録画はワンセグのみ)
その他	エンジン ON/OFF 連動機能	○
電源	電源電圧	DC5V (miniUSB タイプ入力端子)
	消費電力(W)	1.5W
	待機時消費電力	20mW以下
内蔵バッテリー	種類	リチウムポリマー
	容量(mAh)/電圧(V)	1500mAh/3.7V
	駆動時間	約1時間
	充電時間	約4時間
本体サイズ(約)※厚さは最大値	W173mm×H108mm×D36mm	
本体重量(約)	282g	
動作温度	0～45℃	
保存温度	-10～60℃	
付属品	本体	
	車載用DCアダプター(入力:DC12/24V)	
	車載用吸盤スタンド	
	吸盤ベース板	
	取扱説明書×2(内、一冊に保証書付き)	

※本製品のデザイン・仕様は予告なく変更する場合があります。

made in China

お困りの時は

※ご連絡をいただく前に必ず下記項目をご確認ください。

項目	症状	原因
電源・バッテリーについて	電源が入らない	バッテリー残量が少ない可能性があります。初期充電をしてください。 (充電中はランプが点灯します。) …P23
		ハードリセットを行い、再起動を確認してください。…P17
	バッテリーの持続時間が短い	バッテリーの寿命の可能性がありますが、サポートセンターにご相談ください。…表紙
本体について	画面が暗くて見えない	設定で暗くなっている可能性があります。明るさを調整してください。…P65
	画面が消える 画面が映らない	自動OFF設定が設定されている可能性があります。バックライト設定を「常にON」に直してください。…P65
	画面がついたり消えたりする	電源コードを確認してください。 ●車のシガーソケットから増設加工せず直接給電してください。 →増設や加工をすると、給電が安定しなくなり不具合が起きやすくなります。 ●DCアダプターのランプと本体のランプが点灯状態になっているかご確認ください。 →点滅している、ついていないなどの場合、電源供給が正常にできていない可能性があります。…P23
		microSDカードを確認してください。 ●SDカードをパソコンなどでフォーマットしてください。 →SDカードの処理エラーの場合があります。 ●SDカードを新しいものと交換してください。 →SDカードが破損している為、エラーが出ている場合があります。 ●SDカードのスピードクラスと容量が対応規格内かを確認してください。 →対応規格以外のSDカードを使用すると、エラーの原因となる場合があります。
		本体システムの処理エラーが起きている可能性があります。本体のリセットを試してください。…P17
	タッチパネルの反応が悪い。 ボタンが押せない	●保護フィルムをはがしてください。…P17 ●指でしっかりと押してください。 →上記以外のものではタッチ反応しません。
画面補正をお試しください。…P67		
	音が出ない	音量ボリュームを確認してください。 →スピーカマークに斜線が引かれている場合消音モードになっています。スピーカマークをタッチして、消音モードを解除してください。…P65

項目	症状	原因
本体について	テレビが受信できない	電波の受信障害です。 ●アンテナを伸ばしてください。 ●受信環境の良いところに移動してください。 ●スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。…P11/12/29
GPS 受信について	電源を入れた時 GPS の受信ができない	初めて使用する時や長時間使用していない時は、コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。…P12
	電源 OFF のまま長距離移動後 GPS を受信しにくい	GPS の情報を再設定するため受信に時間がかかります。一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	GPS 感度が悪く 自車位置が 捕らえにくい	本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。…P19
	目的地からずれる	初回使用時は GPS の受信が安定せず、測位がずれる場合があります。何度かご使用いただくと測位が安定しますので少し様子を見てください。
ソフト動作について	動作エラーが発生する	リセットを行うか電源を入れ直してください。…P17/24
その他	動作が停止したり不安定になる	リセットを行うか電源を入れ直してください。…P17/24
	正しい時間が表示されない	●メインメニューの設定で、時間設定を行ってください。 →地域が間違っていないかご確認ください。 …P69 ●GPS を受信してください。
	バックカメラに切り替えた後、ワンセグ TV に復帰しない	●復帰するまでに時間がかかる場合があります。長時間復帰しない場合はワンセグ TV のアンテナ受信状態や、周囲の状態を確認してください。(山の近くや高架下の場合は移動するなど)
ドラレコについて	録画しない	●給電が問題ないか確認してください。 →DC アダプターを増設や加工している場合正常に作動しない場合があります。(一部車種ではエンジン連動しません。詳しくはご使用のお車のメーカーに確認してください。) ●SD カードの差込口が間違っていないか確認してください。…P54 ●SD カードの規格があっているか確認してください。 →対応 8GB 以上、32GB 以下/スピード class10 以上 ●SD カードをフォーマットしてください。 →本体でのフォーマットで改善がない場合は SD カードをパソコンでフォーマットする、および SD カードの交換をしてください。 ※SD と本体には相性があります。エラーなどが頻発する場合はドラレコ用の SD カードをご使用ください。(オススメ：東芝やサンディスクの正規品)
バックカメラについて (バックカメラ 付属型のみ)	バックカメラに切り替わらない / バックカメラ録画が記録されない	●配線を確認してください。 →本体への差込と、後方接続口の差し直しを行ってください。赤配線を接続している場合は、先端の銅線を新しく露出させ、繋ぎなおしを行ってください。 ※赤配線の取り扱い…P56 ●給電を確認してください。 →給電が不十分な場合バックカメラは機能しません。

保証書

本保証書は製品ご購入日から下記保証期間内で、製品本体(消耗部品を除く)に故障が発生した場合に下記内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
※無料になる対象は製品のみとなり、検品や発送にかかる送料は対象に含まれませんのでご注意ください。事前のご連絡がない検品・返品に関しては一切お受けできませんのでご注意ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書などの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料で修理いたします。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入店に本保証書を添えてご依頼ください。
 - ご購入店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
 - 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入店名が記入のない場合、或は字句を書換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などの交換などによる故障及び損傷。
 - 液晶、タッチパネルの損傷。
 - 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
 - 修理の際は大切な情報(登録地点など)は必ずメモなどバックアップをおとりください。
初期状態に戻すことがあります。
 - データの取り扱いについて
 - 修理依頼品がメモリーなど記録媒体を搭載または使用する製品の場合、製品に使用した記録媒体などに記録されたデータ(お客様が登録した地図データ、録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容などを含む)を必要に応じて修理の過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理の目的以外に使用いたしません。
 - 本修理サービスにおいて当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業などは一切行いません。
 - 修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の記録媒体などの初期化、交換、工場出荷状態に戻すなどの作業を行うことがあります。その際にお客様の登録データや著作権を含む記録データおよびお客様が追加したファイル、設定などは失われる場合があります。必要なデータおよびファイルなどはあらかじめお客様にてバックアップを作成いただくようお願い致します。
 - 修理などの作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失などが生じる場合があります。当社は、記録データの破損・消失などについての責任は負いかねますので、ご了承ください。
 - 修理などの作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品はベスト・アンサー株式会社の所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承ください。
- ※修理の際は大切な情報(登録地点など)は必ずデータのバックアップまたはメモなどをおとりください。また大切な記録データ(音楽・映像など)も必ずバックアップをおとりください。

保証書

品番 car-085/car-086	保証期間 ご購入日より1年間	※初期不良期間 購入日から14日間
ご購入日：西暦	年 月 日	お客様名
ご購入店	ご住所・電話番号 (-) (〒 -)	

必ずご購入店・購入日時がわかる書類(送り状やレシート)をご一緒に保管してください。